

## 教育委員会 6 月定例会会議録（要旨）

招 集 月 日	平成 2 9 年 6 月 9 日（金）	
招 集 場 所	瀬戸市役所 4 階 大会議室	
出 席 委 員	教育長 深見 和博 委 員 佐野 嘉崇 委 員 加藤 智子 委 員 寺田 康孝	委 員 加藤 高明 委 員 林 みゆき 委 員 二宮 あづさ
欠 席 委 員	***	
議案説明のため に出席した職員	教 育 部 長 涌井 康宣 学 校 教 育 課 長 松崎 太郎 学 校 教 育 課 主 幹 早川 寿 学 校 教 育 課 主 幹 阪本 有一 図 書 館 長 中桐 淳美 交 流 学 び 課 長 田口 浩一 交 流 学 び 課 主 幹 伊藤 照彦 文 化 課 主 幹 服部 郁 地 域 活 動 支 援 室 長 藤井 邦彦	
書 記	学 校 教 育 課 企 画 係 長 清水 隆之 学 校 教 育 課 企 画 係 水野 華	
傍 聴 人 数	1 名	
開 会 時 刻	午後 2 時 0 0 分	
閉 会 時 刻	午後 3 時 1 6 分	
	議 題	可否
1 報 告		
(1) 催物の後援・推薦に係る審査結果報告について		
(2) 催物の後援・推薦に係る実績報告について		
(3) 平成 2 8 年度教育相談利用状況について		
(4) 第 4 回瀬戸市第 2 次教育アクションプラン推進会議について		
(5) 平成 2 9 年 4 月及び 5 月情報公開請求一覧について		
(6) 平成 2 9 年 4 月請願書について		
(7) 学校選択新制度検討委員会の設置について		
(8) 学校給食費未納対策について		
(9) 定光寺こけら葺き葺替え工事等現地見学会の開催について		
(10) 平成 2 8 年度地域交流センター利用実績について		
2 議 案		
第 1 3 号議案 瀬戸市立視聴覚ライブラリー運営委員の任命について		可
第 1 4 号議案 瀬戸市社会教育委員の委嘱について		可
第 1 5 号議案 平成 2 9 年 4 月請願について		否
3 その他		

<p>深見和博教育長</p>	<p>開会 午後2時00分</p> <p>開会宣言</p> <p>5月教育委員会定例会会議録（要旨）の承認</p> <p>1 報 告</p> <p>(1) 催物の後援・推薦に係る審査結果報告について</p> <p>(2) 催物の後援・推薦に係る実績報告について</p> <p>学校教育課長から、審査結果報告書に基づき、「第15回ヤングリーグ愛知県知事杯争奪愛知大会」を始め15件について催物の審査結果を報告。また、実績報告書に基づき、「第5回愛知ジュニアスポーツ大会」をはじめ、8件の催物の実績について報告。</p>
<p>加藤高明委員</p>	<p>審査結果報告 No.7「愛知県立大学スクールソーシャルワーク教員研修」について、継続して後援許可を行っているが、どのような成果があるか。瀬戸市から参加は何名あったか。</p>
<p>学校教育課主幹</p>	<p>今回で4年目の催物であり、瀬戸市からは昨年5名の教員が参加している。スクールソーシャルワーカーとどのように関わるか、また校内でのソーシャルワーク技術を高める研修であり、それを現場に戻り参加していない教員に伝達している。</p>
<p>佐野嘉崇委員</p>	<p>審査結果報告 No.2「ICT シンポジウム」の主催者である瀬戸市民憲章推進協議会の団体としての位置付け、この団体における申請者の位置付けについてお聞きしたい。</p>
<p>交流学び課長</p>	<p>市民団体であり、申請者はこの団体の代表である。</p>
<p>佐野嘉崇委員</p>	<p>(3) 平成28年度教育相談利用状況について</p> <p>(4) 第4回第2次瀬戸市教育アクションプラン推進会議について</p> <p>学校教育課長から、平成28年度教育相談の利用状況を報告。また、第4回第2次瀬戸市教育アクションプラン推進会議の内容について報告。</p>
<p>学校教育課主幹</p>	<p>教育相談利用状況の利用者内訳を見ると、児童・生徒からの相談がないことが読み取れるが、教育相談室について児童・生徒への周知はどのように行っているのか。是非児童・生徒からの相談が増えるように周知していただきたい。</p>
<p>林みゆき委員</p>	<p>学校ではスクールカウンセラーを通じて年に数回は通信を配布しており、そこに教育相談室や他の相談室についても電話番号を記載している。</p>
<p>寺田康孝委員</p>	<p>昨年度と比較すると無言・間違電話の回数は減少しているが、実際は相談しようとして電話をしたものの言葉が出てこなかった、というような方もいたのではないかと思う。引き続き、相談しやすい対応をお願いしたい。</p>
<p>資料の総括コメントは誰がどのような目的で記載したもののか。併せて、要望だが、どのような相談がありどのような回答をしたかの記載があると理解が深まると思</p>	

	う。
学校教育課主幹	教育相談担当職員が、定例教育委員会で今年の傾向をご報告するために記載した。
二宮あづさ委員	教育相談の内容はどのように教育現場に反映されているのか。
学校教育課主幹	基本的に匿名で受けている相談であるためピンポイントで反映するのは難しいが、相談内容の傾向を伝え、念頭におくよう伝えることを心がけていく。
加藤智子委員	瀬戸市の通級指導について、どのように行っているのか。また通級指導を受けている児童・生徒はどれくらいいるか。
学校教育課主幹	各クラスから1~2人の生徒を取り出し、自立に向けた支援を行っている。ニーズは多く、学校によっては数十人いる。通級学級を開設しているのは市内9小学校・3小学校で、教員は県より通級指導のための加配により対応している。
加藤高明委員	面接相談となる場合には何か条件があるのか。
学校教育課主幹	決まった条件はないが、電話相談の延長で面談になる場合や、直接来庁されて面談となることが多い。
深見和博教育長	教員の指導力を向上し、個々の子どもの気持ちを深く理解することが必要である。教員には適切な指導を心がけるよう、声かけをしていく。
	(5) 平成29年4月及び5月情報公開請求一覧について
	(6) 平成29年4月請願書について 学校教育課長、図書館長から、平成29年4月及び5月の情報公開請求の内容について報告。併せて、学校教育課長から平成29年4月に提出のあった請願書の内容について報告。 また、教育長から(6)平成29年4月請願書について、上程済みの議案審議の後、追加議案として上程し、採否の決定を行うことが伝えられた。
	(7) 学校選択新制度検討委員会の設置について 学校教育課長から、資料に基づき、学校選択新制度検討委員会を設置し、既存の隣接学校選択制度廃止に向け、新制度や経過措置について検討を進めていくことについて報告。
佐野嘉崇委員	いつ頃からこの委員会は開催されるのか。
学校教育課長	6月下旬に第1回を開催する予定である。今年11月には新制度の方針を固め、その際には定例教育委員会で報告する。
	(8) 学校給食費未納対策について 学校教育課主幹から、資料に基づき、学校給食費の未納状況や今後の対策について報告。

佐野嘉崇委員	資料8頁の未納者数について、3月の数値が少ないのはどのような理由か。今年度の課題は何かあるか。
学校教育課主幹	このデータは該当月の未納者数データで累計ではないが、4月より公会計に変わることを受け、未納者数を減らそうとした結果だと考える。公会計になると未納が増えると言われているが、4月の未納者数は若干であるが減少している。今までも他市に先駆けて督促や、法的措置を取り入れてきたが、今年度は児童手当からの徴収を行う予定である。
寺田康孝委員	過年度分についても督促等の結果で数値に変動があれば報告をお願いしたい。また児童手当からの徴収は、前年度以前の未納分に対しても行えるか。
学校教育課主幹	過年度分についても学期が終了し数値がまとまった段階で数値の報告をする予定である。過年度分の未納についても、当年度の児童手当からの徴収も可能かどうか検証している。
加藤高明委員	資料7頁の3月未納額が前年度より65万円増え、平成27年度と比較しても増えているが、どういった理由があるか。
学校教育課主幹	給食費の値上げが大きな理由である。その他、過年度分の未納から支払いを行っており現年度分まで払いきれていない世帯、離婚や失業等で支払いが滞っている世帯などがある。ここ3年ほどは就学援助制度の利用を推進して未納金額は減ってきたが、就学援助をぎりぎり受けられない世帯や、ライフラインが止まってしまうような世帯もある。そういった世帯については個々に対応している。金額が増えたとはいえ、未納者数は減っている。
加藤高明委員	公会計に変わったことで給食費の徴収方法に変化はあるか。
学校教育課主幹	従前どおり学校現場を介して徴収をしていく。
二宮あづさ委員	<p>(9) 定光寺こけら葺き葺替え工事等現地見学会の開催について 文化課主幹から、資料に基づき、定光寺こけら葺き葺替え工事等現地見学会の開催概要について報告。</p> <p>参加者は神聖な社寺仏閣に入ることになるので、服装についてのアドバイスがあると良いと思う。</p>
加藤智子委員	<p>(10) 平成28年度地域交流センター利用実績について 地域活動支援室長から、資料に基づき、平成28年度地域交流センター利用実績について報告。</p> <p>資料の「サークル等(減免)」について数値の大小がある理由についてお聞きしたい。</p>
地域活動支援室長	各交流センターによって転換時期が異なるため運営状況も異なっている。西陵地

	<p>域は一番初めに地域交流センター化しており、もともと公民館でサークル活動をしてきた方々にもご理解をいただき、一般の方と同じように利用料を払ってもらっており、利用料が運営主体を通して地域に還元できる仕組みとなっている。他の地域に関しても、減免が残っているところもあるが、今後は自分たちのお金で自分たちの地域活動を運営していけるよう徐々に転換を図っていってもらおう予定である。</p>
<p>加藤智子委員</p>	<p>各地域交流センターによって利用料や利用方法が異なる理由は何かあるか。</p>
<p>地域活動支援室長</p>	<p>基本的には統一の対応をお願いしているが、地域によって異なっている現状がある。どなたも気軽に利用できる施設を運営していただくよう、指導をしていく。</p>
<p>加藤智子委員</p>	<p>市の職員が交流センターに役員になっているのか。</p>
<p>地域活動支援室長</p>	<p>運営についてのアドバイスや、施設利用の申請方法等について指導することはあるが、役員になることはない。全て地域力向上委員会の施設・管理グループが運営している。</p>
<p>加藤智子委員</p>	<p>今後、公民館から地域交流センターへ転換する地域はあるか。</p>
<p>地域活動支援室長</p>	<p>下品野地域が平成31年4月に開設を目指し、基本設計に入っていく。その他の地域については、このまま公民館として運営していくのか、地域交流センターへ転換するのかはその都度各地域で相談していくところである。</p>
	<p>2 議 案</p>
	<p>「第13号議案 瀬戸市立視聴覚ライブラリー運営委員の任命について」 図書館長から、資料に基づき説明。</p>
<p>深見和博教育長</p>	<p>原案どおり可決することに賛成の方は挙手をお願いします。</p> <p>異議なし。(全員挙手)</p>
	<p>&lt;審議の結果、原案どおり承認&gt;</p>
	<p>「第14号議案 瀬戸市社会教育委員の委嘱について」 交流学び課長から、資料に基づき説明。</p>
<p>深見和博教育長</p>	<p>原案どおり可決することに賛成の方は挙手をお願いします。</p> <p>異議なし。(全員挙手)</p>
	<p>&lt;審議の結果、原案どおり承認&gt;</p>

深見和博教育長	ここで、先ほど報告事項にありました「平成 29 年 4 月請願書について」を、第 15 号議案として追加上程します。
	「第 15 号議案 平成 29 年 4 月請願について」 学校教育課主幹から、資料に基づき説明。
寺田康孝委員	野外活動・修学旅行の計画書にはどんな内容が記載されているのか。
学校教育課主幹	行事の目的、目的地、期間、参加人数、経費、計画立案、行程等が記載されている。
寺田康孝委員	市教委はなぜその計画書を提出させているのか。請願者が言っているように安全確認を市教委が行っているのか。
学校教育課主幹	学校設置者として、学校がどのような学校行事を行っているか把握しておくためであり、もちろん安全についても確認している。
寺田康孝委員	市教委はその計画書が提出された後はどのように対応しているのか。
学校教育課主幹	記載に不備がないか等内容を確認しており、記載に不備があった場合は再度提出させている。
林みゆき委員	請願書には、28 年度の提出日が記載されているが、これは事実か。
学校教育課主幹	事実です。
林みゆき委員	なぜ、多くの学校が提出期限を過ぎていたのか。
学校教育課主幹	新年度になってはじめて 1 年間の学校行事の計画を立てるので、請願者の表のように野外活動や修学旅行が年度の早い時期の実施の場合には、一か月前の提出が困難なことがある。そのため、施行細則第 4 条の例外として、担当指導主事が計画書の提出依頼をする際、「遅くとも 2 週間前までに提出のこと」と伝えている。
林みゆき委員	それは許されることなのか。
学校教育課主幹	瀬戸市立学校管理規則第 27 条の定の規程により、許容されるものとする。
林みゆき委員	28 年度において、1 月前に提出できなかった学校について何か支障はあったか。
学校教育課主幹	計画書が届いた時点ですぐに確認しており、特に問題はありませんでした。
林みゆき委員	今年度はどのようにしているのか。
学校教育課主幹	4 月の校長会議にて、「1 月前」までに提出することが原則であるので、できる限り早く提出するよう依頼しました。

寺田康孝委員	今後も学校からの提出書類の確認および期限までの提出についてしっかり行って もらいたい。
学校教育課主幹	委員のご指摘のとおり、今後も提出書類の確認と提出期限の順守について指導し てまいります。
深見和博教育長	本請願について、採択することに賛成の方は挙手をお願いします。  (全員挙手せず)
深見和博教育長	全員、反対と認めます。よって、本請願は不採択とすることに決定いたしました。  <審議の結果、不採択>
	3 その他 学校教育課長から、平成 29 年 7 月定例教育委員会日程表について説明。
深見和博教育長	閉会宣言  閉会 午後 3 時 16 分  教育長 深見和博  教育長職務代理者 佐野嘉崇

瀬戸市教育委員会告示第6号

瀬戸市教育委員会6月定例会を次のとおり招集する。

平成29年6月2日

瀬戸市教育委員会

教育長 深見 和博

- 1 日 時 平成29年6月9日(金)午後2時
- 2 場 所 瀬戸市役所4階大会議室
- 3 付議事件

議 案

- (1) 瀬戸市立視聴覚ライブラリー運営委員の任命について
- (2) 平成29年度瀬戸市社会教育委員の委嘱について

## 瀬戸市教育委員会 6月定例会

### 1 報 告

- (1) 催物の後援・推薦に係る審査結果報告について 別添資料1 (学校教育課長)
- (2) 催物の後援・推薦に係る実績報告について (学校教育課長)
- (3) 平成28年度教育相談利用状況について (学校教育課長)
- (4) 第4回瀬戸市第2次教育アクションプラン推進会議について  
当日資料配布 (学校教育課長)
- (5) 平成29年4月及び5月情報公開請求一覧について (学校教育課長)  
(図書館長)
- (6) 平成29年4月請願書について (学校教育課長)
- (7) 学校選択新制度検討委員会の設置について (学校教育課長)
- (8) 学校給食費未納対策について (学校教育課主幹)
- (9) 定光寺こけら葺き葺替え工事等現地見学会の開催について (文化課長)
- (10) 平成28年度地域交流センター利用実績について (地域活動支援室長)

### 2 議 案

- 第13号議案 瀬戸市立視聴覚ライブラリー運営委員の任命について (図書館長)
- 第14号議案 瀬戸市社会教育委員の委嘱について (交流学び課長)

### 3 その他

# 催物の後援・推薦に係る審査結果報告書

No	申請受付 年月日	主 催 者 (申 請 者)	催 物 名	会場・開催期間等	催 物 内 容 等	申 区 分	入 場 料 等	許 可 年 月 日 (整理番号)
1	平成 29 年 4 月 18 日	全日本少年硬式野球連盟 中日本ブロック東海支部 東海スラッグーズ 三輪 尚宏	第 15 回ヤングリーグ 愛知県知事杯争奪愛知大会	春日井市民球場 森林公園第 1, 2 野球場 他 7 球場 平成 29 年 5 月 3 日 ～平成 29 年 5 月 5 日	野球を通じて、少年達が将来健全な社会人として成長する よう、その潜在能力を引き出す手助けとなることを目的とし ており、この大会の開催を通じて選手たちの交流を深め、少 年の成長に資する。	後 援 (継続)	入場料 無料 参加料 20,000 円 (1 チーム)	平成 29 年 4 月 28 日許可 (29-233-7)
2	平成 29 年 4 月 18 日	瀬戸市民憲章推進協議会 野田 大介 (瀬戸市)	ICT 教育シンポジウム	パルティセと 5 階アリーナ 平成 29 年 11 月 4 日	2020 年に向けて文部科学省が進めている ICT 教育について 現在義務教育を受けている子どもを持つ保護者や学校教育関係 者に ICT 教育の基本を伝えるプレゼンテーションを行う共 に、ICT 教育のスペシャリストによるトークセッションや他市 の取り組み紹介、ICT 教育に役立つアプリ等を紹介する。	後 援	入場料 無料 参加料 無料	平成 29 年 4 月 24 日許可 (29-237-8)
3	平成 29 年 4 月 20 日	㈱コアスリー 大谷明典	保護者のための特別支援教育 講演会	スカイワードあさひ くすのきホール A 平成 29 年 4 月 8 日	特別支援を要する児童が増えている中で、環境の変わった 新学期から夏休みに向けて健やかに過ごすため、適切な療育、 教育について学ぶ機会を持つ。	後 援	入場料 無料 参加料 無料	平成 29 年 4 月 25 日許可 (29-262-9)
4	平成 29 年 4 月 24 日	瀬戸メサイア合唱団 岩波 健夫 (瀬戸市)	瀬戸メサイア合唱団 第 16 回チャリティコンサート	瀬戸市文化センター 文化ホール 平成 29 年 10 月 8 日	演奏会を開催し日頃の合唱練習の成果を発表する機会と し、音楽の素晴らしさ、楽しさを地域の方と共有する。 また自然災害の被災地復興支援を目的としてチャリティ募 金を行う。	後 援 (継続)	入場料 無料 参加料 無料	平成 29 年 4 月 28 日許可 (29-282-10)
5	平成 29 年 4 月 24 日	学校法人名古屋電気学園 愛知工業大学 後藤 泰之 (瀬戸市)	まるごと体験ワールド	愛知工業大学 平成 29 年 8 月 5 日	理科離れといわれる昨今、科学立国を目指すよう考慮し、 地域の小中学生を対象としたふれあいものづくり講座を行 い、地域の社会教育活動とする。	後 援 (継続)	入場料 無料 参加料 1,000～7,000 円	平成 29 年 4 月 28 日許可 (29-288-11)
6	平成 29 年 4 月 28 日	和文化復興プロジェクト 遠嶋 征通 (瀬戸市)	瀬戸こども芝居塾	三愛 (瀬戸銀座通り) 平成 29 年 7 月 26 日 ～平成 29 年 8 月 28 日	児童文学作品を演劇で表現することを通じて、子どもたち に思いを伝えることや相手の気持ちを汲み取るというコミュ ニケーションの重要性を理解し、表現する能力を高める。	後 援	入場料 無料 参加料 無料	平成 29 年 5 月 11 日許可 (29-330-12)
7	平成 29 年 5 月 8 日	愛知立大学大学院人間 発達学研究所 望月 彰	愛知立大学スクロールソーシ ヤルワーク教員研修	愛知県立大学 長久手キャンパス 平成 29 年 8 月 8 日 ～平成 29 年 12 月 16 日	スクロールソーシャルワーカーの受け入れ体制を整備して、 いじめ、不登校、非行、貧困問題等に学校が適切に対応す るため、教職員がソーシャルワークの視点や方法を学ぶ。	後 援 (継続)	入場料 無料 参加料 無料	平成 29 年 5 月 11 日許可 (29-401-13)
8	平成 29 年 5 月 8 日	墨翔会 遠山 紫峰 (瀬戸市)	第 43 回 清心書展	瀬戸市文化センター 文化交流館 31 会議室 平成 29 年 6 月 10 日 ～平成 29 年 6 月 11 日	小学生を含む会員が様々な作品を出品し、書技術向上、並 びに書道普及を目的とする。	後 援 (継続)	入場料 無料 参加料 無料	平成 29 年 5 月 11 日許可 (29-404-14)

# 催物の後援・推薦に係る審査結果報告書

NO	申請受付 年月日	主催者 (申請者)	催物名	会場・開催期間等	催物内容等	申請 区分	入 場 料 等	許 可 年 月 日 (整理番号)
9	平成29年 5月9日	公益財団法人 春日井青年会議所	春日井市文化・スポーツ都市宣言 「西野亮廣講演会・絵画展」	講演会：春日井市民会館 絵画展：春日井市文化フォーラム 平成29年9月13日 ～平成29年9月24日	今現在人気のある絵本作家の講演会、絵画展を行い、若い世代に夢を持つ大切さを知ってもらおう。また文化・スポーツ都市宣言をした春日井市のPRにもなり、市の発展へ繋げる。	後援	入場料 2,000円 参加料 無料	平成29年5月15日許可 (29-418-15)
10	平成29年 5月9日	公益財団法人 愛知県教育振興会 理事長 山内 敏之	親と子のつどい	瀬戸市文化センター 平成29年8月27日	親と子の触れ合いから、豊かな心を育て、心の交流を図るため、観劇会を実施する。	後援	入場料 無料 参加料 無料	平成29年5月15日許可 (29-418-16)
11	平成29年 5月11日	瀬戸音楽連盟 運盟長 加藤 洋太郎 (瀬戸市)	第33回 瀬戸合唱フェスティバル	瀬戸市文化センター 文化ホール 平成29年9月3日	瀬戸地区の合唱団及び大編成楽器の演奏会を毎年1回文化ホールにて一同に会し、演奏の向上と親睦を図る	後援 (継続)	入場料 無料 参加料 大人団体に限り 8,000円	平成29年5月16日許可 (29-429-17)
12	平成29年 5月12日	特定非営利活動法人 フィール・ザ・ワールド 平松 貴美子	オールイングリッジシミュレーション2017	福井県立奥越高原 青少年自然の家 平成29年7月27日 ～平成29年7月29日	2泊3日のサマーカーャンプを通して自立心・自律心の育成、コミュニケーション能力の育成、リーダーシップとチームワークの学習を目的とする。	後援 (継続)	入場料 無料 参加料 FW会員 32,000円 一般 35,000円	平成29年5月16日許可 (29-448-18)
13	平成29年 5月15日	公益財団法人 瀬戸市文化振興財団 瀬戸市文化協会 理事長 伊藤 保徳 (瀬戸市)	2017 文化体験講座	瀬戸市文化センター 文化交流館他 平成29年7月21日 ～平成29年8月31日	市民文化活動支援事業として、瀬戸市文化協会会員が講師を務める文化体験講座を開催し、小学生から高校生までの若年層を中心とした多くの市民の方々に様々な文化を体験・学習し、文化に親しむを持つきっかけとしてもらい、芸術文化の継承と普及を図り、豊かな人間性を養う。	後援 (継続)	入場料 無料 参加料 無料	平成29年5月16日許可 (29-454-19)
14	平成29年 5月16日	公益財団法人 瀬戸市文化振興財団 瀬戸市文化協会 理事長 伊藤 保徳 (瀬戸市)	第84回NHK全国学校音楽コンクール愛知県コンクール尾張地区予選(小・中学校)、全県予選(高等学校)	瀬戸市文化センター 平成29年7月31日 ～平成29年8月1日	県内の小・中・高当学校の児童、生徒を対象とし、歌う楽しさ、声を合わせる喜びを感じとり、心の成長に寄与する。	後援 (継続)	入場料 無料 参加料 無料	平成29年5月22日許可 (29-478-21)
15	平成29年 5月17日	尾張旭・セーフファイアー・サイクリスト・ネットワーク 片山 昇	OSCNじてんしゃスクール 「森林公園植物園 OSCN セーフティーサイクリング」	森林公園 第2駐車場及び植物園 平成29年7月9日	自転車による事故や危険な乗り方を防ぐため、警察や行政との協働のもと、自然を愛でつつ交通安全利用講習を実施。自転車の有効活用を広く周知し、環境省の推進する国民運動「COOL CHOICE」ならびに愛知県が提唱する「エコモビリティライフ」にも貢献する。	後援	入場料 大人190円 参加料 大人1,000円 子ども500円	平成29年5月22日許可 (29-488-22)

# 催物の後援・推薦に係る実績報告書

NO	報告受付 年月日	報告区分	主催者 (申請者)	催物名	会場・開催期間等	催物の実績等	後援・推薦の効果等
1	平成29年 4月13日 (28-2354-71)	後援	合同会社コンディショニング サポート 岡島 正明	第5回愛知ジュニアスポーツ大会	瀬戸市民公園体育館 平成29年4月1日	参加人員 145人 入場人員 145人	後援によりチラシの配布が行えたため幼稚園や小学校から多くの 方の参加を募ることができた。家族がスポーツを通してコミュニケ ーションをとり、思い出づくりをする機会となった。
2	平成29年 4月24日 (28-2125-66)	後援	瀬戸いけばな協会 理事長 西山 紀翠	2017 瀬戸いけばな芸術展	瀬戸市文化センター3階 平成29年4月8日 ～平成29年4月9日	参加人員 91人 入場人員 800人	市内及び周辺の地域の人々の理解を深めてもらう上で大きな効果 があった。伝統文化である「いけばな」発展のため、またいけばな 協会の会員の励みになった。
3	平成29年 5月2日 (28-1978-63)	後援	栄徳高等学校 鈴木 文悟	栄徳高等学校吹奏楽部 第16回定期演奏会	瀬戸市文化センター 平成29年3月22日	参加人員 100人	後援名義を使用したことにより、瀬戸市在住者の参加が多く見ら れた。
4	平成29年 5月9日 (28-2471-74)	後援	瀬戸音楽協会 伊藤 定一	第24回新人演奏会	瀬戸蔵つばきホール 平成29年3月25日	参加人員 38人 入場人員 300人	年度末の日曜日の開催であったが、参加者は熱心に演奏し、演奏 も素晴らしかった。芸術性の高いものを少しでも多くの人に知って もらうため後援は非常に重要であった。
5	平成29年 5月9日 (28-2472-75)	後援	瀬戸音楽協会 伊藤 定一	瀬戸児童合唱団 第29回定期演奏会	瀬戸市文化センター文化ホー ル 平成29年3月25日	参加人員 145人 入場人員 350人	会場の都合により土曜日の開催となり、比較的少なめの入場人数 となったが、広く周知を図ることができた。
6	平成29年 5月15日 (28-2353-70)	後援	特定非営利法人活動団体 愛知 県オリエンテering協会 新帯 亮	2017年度愛知県民オリエンテering 大会	瀬戸市定光寺公園 平成29年4月23日	参加人員 グループ16組 個人 148人	定光寺公園の利用について、地元の協力を得られた。
7	平成29年 5月15日 (29-233-7)	後援	東海スラッガーズ 三輪 尚宏	第15回ヤングリーグ 愛知県知事杯争奪戦 愛知大会	春日井市民球場 森林公園第1,2野球場 他 平成29年5月3日 ～平成29年5月5日	参加人員 855人 入場人員 1119人	大会参加者から、ヤングリーグの中でも愛知大会は開催における 自治体からのバックアップが多いという評価があった。
8	平成29年 5月22日 (28-1401-51)	後援	オーケストラ Fantasia 山本 秀樹	オーケストラ Fantasia 第15回定期演奏会	尾張旭市文化会館 平成29年5月14日	参加人員 40人 入場人員 349人	広く周知を図ることができた結果、クラシック音楽を芸術的かつ 個性的に演奏し、聴衆と演奏者相互が感動を共有する場を作ること ができた。

※「参加人員」…主催者を除く事業への参加者数 ※「入場人員」…催物の一般入場（来場）者数

## 平成28年度 教育相談室利用状況(4月～3月)

### 1 利用者内訳

	男	女	計
小学生	0	0	0
中学生	0	0	0
高校生	0	0	0
青少年	0	0	0
保護者	1	18	19
一般	1	13	14
計	2	31	33
無言電話			10
間違電話			3
計			46

### 【相談件数】

26年度	54	件	( 2 )
27年度	65	件	( 30 )
28年度	46	件	( 13 )

( )内は無言・間違い

### 【面接相談】(上記の相談件数の内数)

26年度	2	件	27年度	0	件	28年度	2	件
------	---	---	------	---	---	------	---	---

### 【男女内訳】

25年度	男	1.9	%	女	98.1	%
26年度	男	11.4	%	女	88.6	%
27年度	男	6.1	%	女	93.9	%

- ・今年度は、保護者からの相談で不登校と学業・学校生活についての相談が多かった。特に、担任による子どもへの対応に対しての不満が目立った。親が子どもの言うなりになっているような感じである。親が成長してないこともあるが、学校としてそのような親がいることを踏まえ、学校としての対応を考えていく必要があると思う。まずは、学校(担任)と保護者の信頼関係を構築していくことが、最優先であると感じた。
- ・一般の方からは、孫の学業に関する問い合わせが主であった。学習についていけない孫の学校の対応についての内容であった。そのことについては、特別支援学級や通級など個々に対応した指導があることを説明した。

### 2 相談の内容

	小	中	高	青	保	一	計
身体と精神	0	0	0	0	1	0	1
学業と能力	0	0	0	0	2	8	10
性格と行動	0	0	0	0	0	0	0
不登校	0	0	0	0	5	0	5
いじめ	0	0	0	0	1	0	1
進路と就学	0	0	0	0	0	0	0
学校生活	0	0	0	0	6	0	6
友人問題	0	0	0	0	0	0	0
男女交際	0	0	0	0	0	0	0
性の問題	0	0	0	0	0	0	0
家族問題	0	0	0	0	3	2	5
育児と躾	0	0	0	0	0	0	0
生きがい	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	1	4	5
計	0	0	0	0	19	14	33

- ・直接教育委員会の指導係へかかってくる電話は、この相談電話に入れていないが、年々多くなっている。その都度指導主事に対応をし、学校への働きかけをして解決できる内容がほとんどであった。その場合は、必ず名前や連絡先を告げる方であった。いずれにしても、学校と保護者との信頼関係を構築していくことが、大切であると思われる。学校生活については、子どもと担任との人間関係の問題が多い。特に先生の指導に対する不満や学校の対応のまずさを訴える事例が多くなっている。アンテナを高く、情報収集と情報の共有すること、迅速・適切な初期対応が必要である。

平成29年4月情報公開請求一覧

NO	請求年月日	請求区分	請求内容	決定通知年月日	開示区分	開示文書名	担当部署	備考
1	平成29年4月18日	公文書開示請求書	○2016年度に開かれた尾張部都市教育長会議に関するすべての文書 ○2017年4月に開かれた愛日地方教育事務協議会に関するすべての文書	平成29年5月1日	一部開示	○平成28年度教育長会議文書 ○平成29年度4月愛日地方教育事務協議会文書	学校教育課	○開示しないこととした部分 ・尾張部都市教育長会議案第2号「平成27年度歳入歳出決算及び監査報告について」における印影 ○開示しないこととした根拠規定及び当該規定を適用する理由 ・個人印影は悪用される恐れがあり、第7条第2号に該当するため。

平成29年5月情報公開請求一覧

NO	請求年月日	請求区分	請求内容	決定通知年月日	開示区分	開示文書名	担当部署	備考
1	平成29年5月2日	公文書開示請求書	○瀬戸市子ども読書活動推進計画（第二次）に関するすべての文書（ただし、図書館HPで公開されている文書を除く。）	平成29年5月10日	一部開示	○平成24年度第1回瀬戸市子ども読書活動推進協議会議事録（第二次）策定の基礎資料を含む ○平成25年度第1回瀬戸市子ども読書活動推進協議会議事録	図書館	○開示しないこととした部分 ・議事録における市職員を除いた協議会委員の氏名 ○開示しないこととした根拠規定及び当該規定を適用する理由 ・個人が特定される恐れがあり、第7条第2号に該当するため。

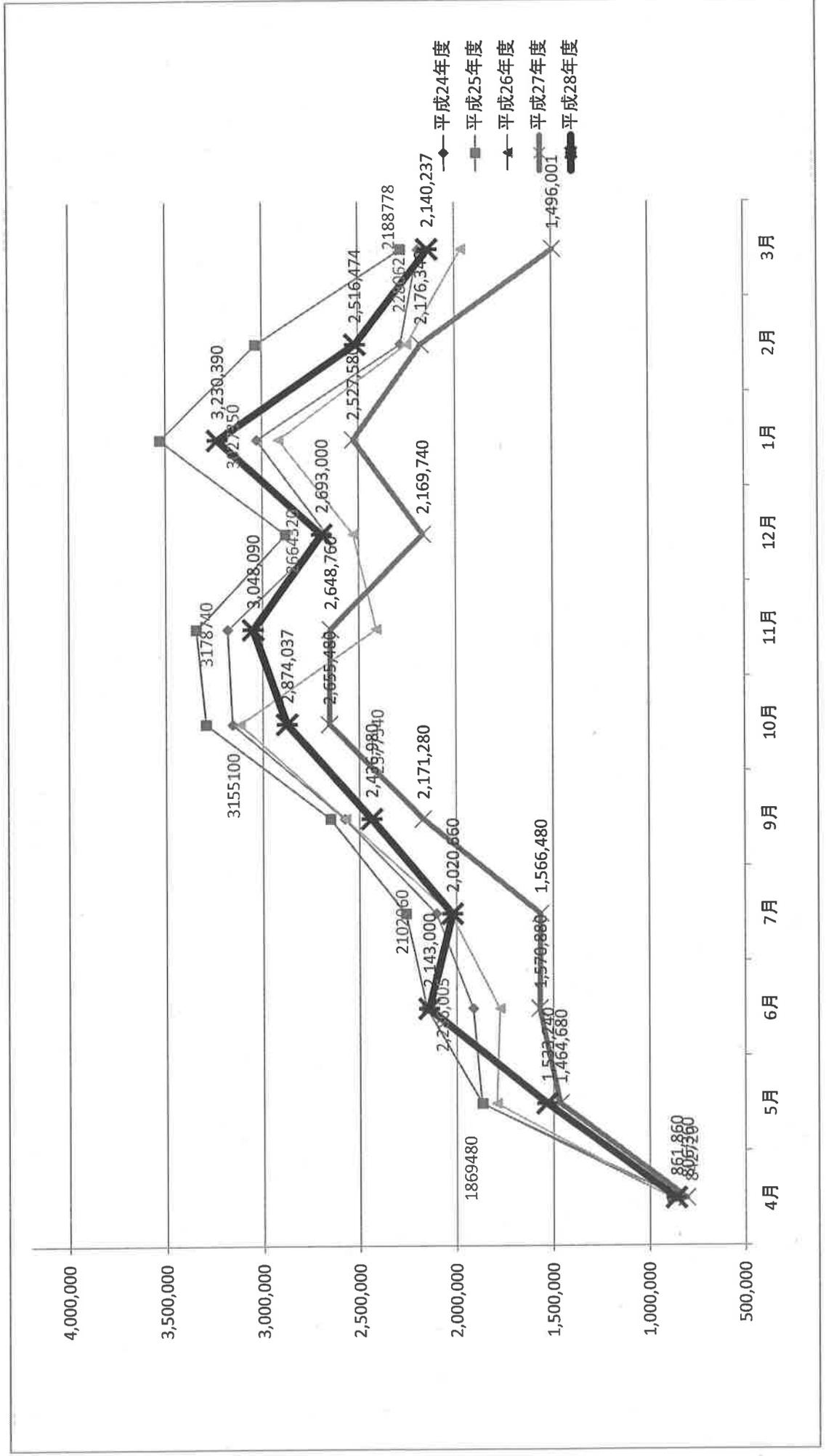
平成29年4月提出請願書について

NO	提出 年月日	請願内容	担当部署	備考
1	平成29年 4月3日	1. 児童生徒の安全を確保するという点について怠慢のそしりを免れないことにより、瀬戸市教育委員会教育長をはじめとし、関係指導主事、関係校長を処分すること。	学校教育課	

1 未納給食費累計額(現年度)

(円)

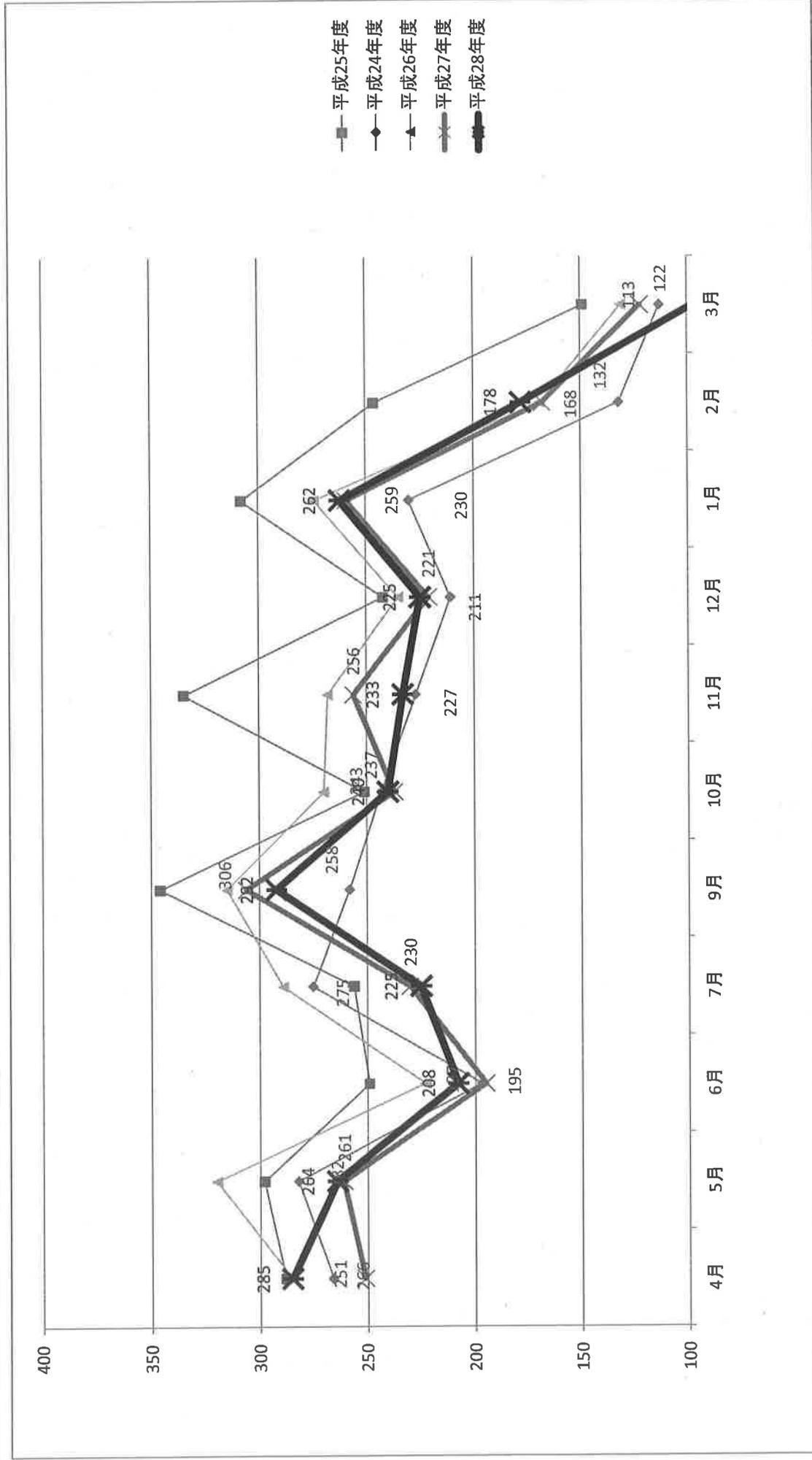
	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成24年度	842,720	1,869,480	1,914,520	2,102,060	2,577,340	3,155,100	3,178,740	2,664,320	3,027,350	2,280,621	2,188,778
平成25年度	884,600	1,868,170	2,152,450	2,260,770	2,650,960	3,291,986	3,340,342	2,878,948	3,527,760	3,033,758	2,277,825
平成26年度	890,160	1,793,280	1,777,200	2,029,720	2,572,883	3,116,563	2,410,345	2,529,545	2,913,578	2,248,538	1,968,012
平成27年度	806,360	1,464,680	1,570,880	1,566,480	2,171,280	2,655,480	2,648,760	2,169,740	2,527,580	2,176,340	1,496,001
平成28年度	861,860	1,533,240	2,143,000	2,020,660	2,436,980	2,874,037	3,048,090	2,693,000	3,230,390	2,516,474	2,140,237



2 月毎未納者数(現年度、小学校+中学校)

(人)

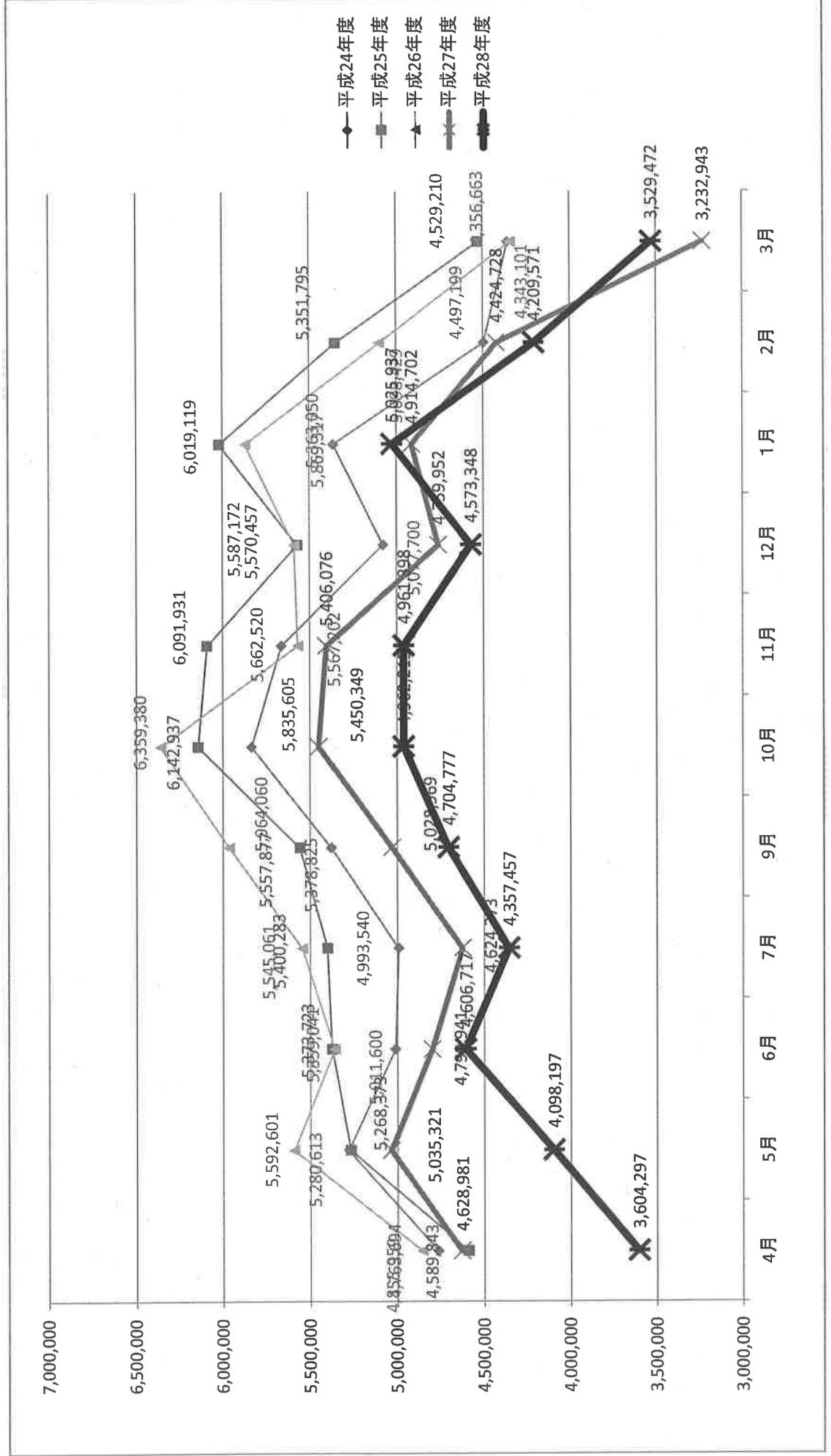
	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成24年度	266	282	197	275	258	243	227	211	230	132	113
平成25年度	288	298	249	256	346	251	335	242	308	246	149
平成26年度	285	320	223	289	315	270	268	235	274	169	131
平成27年度	251	261	195	230	306	237	256	221	259	168	122
平成28年度	285	264	208	225	292	240	233	225	262	178	97



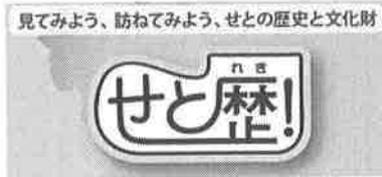
3 未納給食費累計額(現年度+過年度)

(円)

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成24年度	4,763,694	5,280,613	5,011,600	4,993,540	5,378,825	5,835,605	5,662,520	5,077,700	5,363,050	4,497,199	4,356,663
平成25年度	4,589,843	5,268,373	5,373,723	5,400,283	5,557,877	6,142,937	6,091,931	5,570,457	6,019,119	5,351,795	4,529,210
平成26年度	4,855,959	5,592,601	5,359,041	5,545,061	5,964,060	6,359,380	5,567,202	5,587,172	5,869,317	5,098,429	4,343,101
平成27年度	4,628,981	5,035,321	4,799,941	4,624,373	5,028,969	5,450,349	5,406,076	4,759,952	4,914,702	4,424,728	3,232,943
平成28年度	3,604,297	4,098,197	4,606,717	4,357,457	4,704,777	4,962,215	4,961,398	4,573,348	5,025,937	4,209,571	3,529,472



## 瀬戸の魅力再発見「せと歴！」「定光寺こけら葺き葺替え工事等現地見学会」



**主 旨** 国指定重要有形文化財「定光寺本堂」は、建武 3(1336)年に開山された臨済宗定光寺の中心建物として建造されました。幾たびかの地震や火災を受け、明応 2(1493)年に再建され、昭和 14 年の大規模な大屋根部分の解体修理を経て今日に至ります。前回の平成 5 年度の屋根葺替え修理より 4 半世紀近くが経過し、屋根のこけら葺き材を全面的に葺替えする保存修理が必要となりました。このたび、定光寺による文化財保存事業として本堂の葺替え保存修理工事が行われることとなり、この機に貴重な文化財とその保存修理工事の模様を市民の方々に見学していただくことで、文化財をより身近に感じていただきたく見学会を開催いたします。

**日 時** 6 月 2 4 日(土)「定光寺こけら葺き葺替え工事等現地見学会」

第 1 部 午前 10 時～11 時 30 分

第 2 部 午後 1 時～2 時 30 分

第 3 部 午後 2 時 30 分～4 時

※各部で、参加者を 2 班に分け本堂内部及び大屋根・もこし足場で各説明者が、寺・建造物の沿革や工事内容(こけら葺き材の平葺き作業の見学含む)について説明。参加者は主催者が用意したヘルメットを着用し、説明者の案内に従って見学を行う。

※各部終了後に定光寺境内に続く国指定重要文化財 源敬公(徳川義直)廟について、希望者に見学説明会を行う。

※雨天決行・荒天中止

**会 場** 定光寺本堂 (集合場所：定光寺展望駐車場)

**募集人数** 各回 20 人

**説明者** (一財)建築研究協会 古荘貴也氏・文化課職員

**主 催** 瀬戸市・(公財)瀬戸市文化振興財団  
**共 催** 宗教法人 定光寺・一般財団法人 建築研究協会・田中社寺株式会社

**参加募集** 広報せと (平成 29 年 6 月 1 日号)  
只今!せとラジオ (平成 29 年 6 月 14 日収録・公開) 等

**実施体制** 文化課 5 名、財団 3 名、建築研究協会 1 名、田中社寺若干名

**事前申し込み** 6 月 1 日(木)午前 10 時より電話にて受付開始 (定員に達し次第終了)

**参加費** 無 料(源敬公廟見学も参加される方は、100 円の拝観料が必要)

**連絡先** 瀬戸市交流活力部文化課文化財係  
〒489-0884 愛知県瀬戸市西茨町 113 番地 3  
TEL : 0561-84-1093  
FAX : 0561-85-0415  
担当 : 佐野



定光寺本堂 保存修理工事  
(こけら葺き旧材撤去状況)  
画像：(一財)建築研究協会 提供

## 平成28年度 地域交流センター利用実績

●西陵地域交流センター(ふれあいかん)・・・H22. 10月オープン (人)

サークル等 (有料)	営利団体・個人	サークル等 (減免)	地域力関係	地域団体	官公庁	その他	合計
35,130	7,002	0	1,514	16,821	851	661	61,979
(平成27年度)							59,487

●品野台地域交流センター(めくも里)・・・H23. 4月オープン (人)

サークル等 (有料)	営利団体・個人	サークル等 (減免)	地域力関係	地域団体	官公庁	その他	合計
6,308	2,871	652	3,058	590	141	2,175	15,795
(平成27年度)							16,376

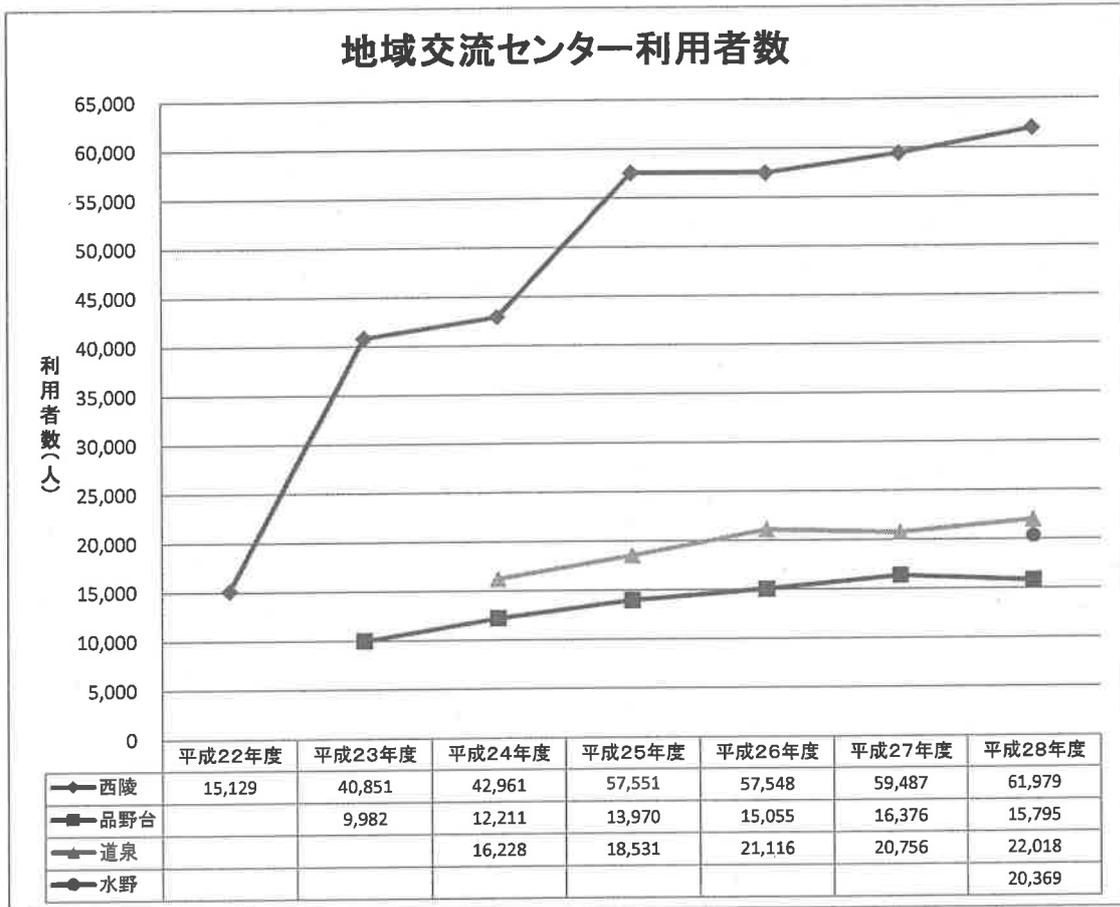
●道泉地域交流センター(ぐるっぺ道泉)・・・H24. 4月オープン (人)

サークル等 (有料)	営利団体・個人	サークル等 (減免)	地域力関係	地域団体	官公庁	その他	合計
9,925	6,364	143	1,921	2,353	1,097	215	22,018
(平成27年度)							20,756

●水野地域交流センター・・・H28. 4月オープン (人)

サークル等 (有料)	営利団体・個人	サークル等 (減免)	地域力関係	地域団体	官公庁	その他	合計
8,111	199	5,818	1,412	3,787	189	853	20,369
(平成27年度)							—

### 地域交流センター利用者数



(人)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
合計	15,129	50,833	71,400	90,052	93,719	96,619	120,161

平成29年7月 定例教育委員会日程表

月・日	曜日	件名
7・1	⊕	
2	⊖	
3	月	
4	火	
5	水	
6	木	
7	金	愛日地方教育事務協議会 午後2時00分～ 瀬戸市文化センター 教育長・教育長職務代理者・加藤高明委員
8	⊕	
9	⊖	
10	月	
11	火	
12	水	
13	木	定例会事前打合 午後1時30分～ 瀬戸市立図書館 集会室 全委員 定例教育委員会 午後2時00分～ " " "
14	金	愛知県市町村教育委員会連合会総会及び研修会 午後1時30分～ 江南市民文化会館小ホール 全委員
15	⊕	
16	⊖	
17	⊕	海の日
18	火	
19	水	
20	木	1学期終業式
21	金	夏季休業(～8/31)
22	⊕	
23	⊖	
24	月	
25	火	
26	水	
27	木	
28	金	
29	⊕	
30	⊖	
31	月	

8月3日(木) 13:30～ 教育懇談会 文化センター  
 8月10日(木) 13:30～ 定例会事前打ち合せ 市役所3階教育長室  
 14:00～ 定例教育委員会 市役所4階大会議室

## 29年第13号議案

### 瀬戸市立視聴覚ライブラリー運営委員の任命について

瀬戸市立視聴覚ライブラリー運営委員会規則（昭和49年教育委員会規則第7号）第4条の規定に基づき、瀬戸市立視聴覚ライブラリー運営委員として、次の者を任命する。

平成29年6月9日提出

瀬戸市教育委員会  
教育長 深見 和博

#### 1 委員名

別紙「瀬戸市立視聴覚ライブラリー運営委員名簿（案）」のとおり

#### 2 任期

平成29年7月1日から平成31年6月30日まで

#### （理由）

この案を提出するのは、瀬戸市立視聴覚ライブラリー運営委員を任命するに当たり、教育委員会の議決を求める必要があるからである。

# 瀬戸市立視聴覚ライブラリー運営委員名簿(案)

任期:平成29年7月1日～平成31年6月30日

氏名	所属団体	団体役職名等	区分	備考
加藤 中哉 カトウ ナカ	瀬戸市小中学校長会	学校視聴覚教育担当 (幡山東小学校校長)	学校教育関係者	新任
杉浦 哲男 シゲウラ テツオ	瀬戸市小中学校視聴覚教育研究会	副会長 (祖東中学校教頭)	学校教育関係者	
長江 保 ナガエ タモ	瀬戸市公民館協議会	(效範公民館館長)	社会教育関係者	新任
横井 暢彦 ヨコイ ヒロヒコ	瀬戸市子ども会連絡協議会	会長	利用団体関係者	
加藤 千美 カトウ チカミ	愛知県私立幼稚園連盟 旭・瀬戸支部	支部長 (雪の聖母幼稚園園長)	利用団体関係者	
佐藤 拓哉 サトウ タクヤ	瀬戸市消防本部	消防課主幹	利用団体関係者	
金谷 みどり カナヤ ミドリ	瀬戸市こども家庭課 (保育園・交通児童遊園所管)	水南保育園園長	利用団体関係者	新任

7名

29年第14号議案

瀬戸市社会教育委員の委嘱について

瀬戸市社会教育委員浅井光雄、矢野桂子、加藤吉明は、平成29年5月2日をもって辞任したので、その後任として次の者を委嘱する。

なお、委嘱期間は、前任の委嘱期間である平成30年5月31日までとする。

平成29年6月9日提出

瀬戸市教育委員会  
教育長 深見 和博

瀬戸市古瀬戸町70番地 古瀬戸小学校

右高 恭子

昭和32年7月10日生

瀬戸市

菊川 照一

昭和27年12月31日生

瀬戸市

横山 洋

昭和48年4月3日生

(理由)

この案を提出するのは、瀬戸市社会教育委員を委嘱するに当たり、社会教育法（昭和24年法律第207号）第15条の規定により、教育委員会の議決を求めるため必要があるからである。

平成29年度 瀬戸市社会教育委員名簿

氏名	〒番号	住所	電話	選出母体	公職・その他	再・新
右高 恭子				校長会	瀬戸市小中学校校長会 副会長	新
菊川 照一				公民館	瀬戸市公民館協議会 副会長	新
横山 洋				PTA	瀬戸市小中学校PTA連絡協議会 会長	新
横井 暢彦				子ども会	瀬戸市子ども会連絡協議会 会長	再
川本 まり子				体育団体	瀬戸市体育協会 常任理事	再
青山 貴彦				医師会	瀬戸旭医師会 副会長	再
田沼 春二				文化団体	瀬戸陶芸協会 常任理事	再
佐野 麻貴				福祉団体	瀬戸市民生委員児童委員協議会 主任児童委員部会長	再
椿井 信仁				薬剤師会	瀬戸旭長久手薬剤師会 副会長	再
福岡 明				学識経験者	元瀬戸市小中学校校長・瀬戸市第2次教育アジェンダ推進委員	再

◆定数及び任期...13名以内、平成28年6月1日～平成30年5月31日

29年第15号議案

平成29年4月請願について

平成29年4月に受理した請願書について、瀬戸市教育委員会会議規則第17条の規定に基づき、別紙のとおり提出する。

平成29年6月9日提出

瀬戸市教育委員会

教育長 深見和博

(理由)

この案を提出するのは、請願の採否について、教育委員会の議決を求める必要があるからである。

請 願 書

瀬戸市教育委員会  
教 育 長 様

2017年4月3日

請願者  
住所  
氏名

瀬戸市教育委員会会議規則（教委規則第1号）第17条の規定に基づき、請願します。

記

【請願の要旨】

1. 児童生徒の安全を確保するという点について怠慢のそしりを免れないことにより、瀬戸市教育委員会教育長をはじめとし、関係指導主事、関係校長を処分すること。

【請願の理由】

1. 瀬戸市立学校管理規則施行細則第4条（学校外における学校行事の届出）は、次のように定められている。  
「管理規則第6条第2項の規定による届出は、宿泊を伴う学校行事については様式1により実施1月前までに、宿泊を伴わない学校行事については様式2により実施7日前までに届出するものとする。」（下線=引用者）
2. 請願者が、2016年度の市立中学校の野外活動・修学旅行に関する「実施計画書」の開示を求め調査したところ、定めに従って1月前までに提出していた学校は少数であった。（下表参照）

①野外活動の届出の実態

学 校 名	「計画」提出日	実施日	定めに従って提出したか
水無瀬中	5. 2	5. 17～	×
祖東中	5. 27	6. 14～	×
南山中	5. 20	6. 14～	×
本山中	5. 10	6. 21～	○
幡山中	5. 16	6. 7～	×
品野中	5. 6	6. 14	○
光陵中	5. 11	6. 7～	×
水野中	5. 20	6. 14～	×

②修学旅行の届出の実態

学 校 名	「計画」提出日	実施日	定めに従って提出したか
水無瀬中	5. 6	6. 7～	○
祖東中	5. 6	5. 31～	×
南山中	5. 20	6. 7～	×
本山中	5. 2	5. 24～	×
幡山中	4. 22	5. 17～	×
品野中	4. 22	5. 24～	○
光陵中	5. 11	5. 31～	×
水野中	4. 22	5. 31～	○

3. 児童生徒の安全確保は、最優先事項である。1月前までに提出し、市教委としても、安全確保において問題がないのか「計画」をチェックすべきものである。上記提出実態は、提出する校長も、受け取る市教委も、「最優先事項としての児童生徒の安全確保」との認識を欠くと言わざるを得ない。加えて言えば、例えば、2010年に浜名湖でボートが転覆し豊橋市立章南中女子生徒が死亡した事故など、忘れてしまっているのではないかと危惧する。

いずれにしても、このような杜撰な状態が許容されるはずはない。そして、当然、教育長の責任は最も重い。

4. 事故が発生してからでは遅い。真摯な反省を求めるため、上記のように請願する。また、指摘するまでもなく、(教育)行政は、法に従って遂行されなければならない。瀬戸市立学校管理規則、同施行細則を遵守して事務が遂行されるよう、上記のように請願する。

以上

## 『第15回 ヤングリーグ愛知県知事杯争奪愛知大会』実施要綱 1

- 《開催日程》 平成29年5月3日(水・祝)～5日(金・祝)【予備日 5月6日(土)】
- 《開催場所》 春日井市民球場・一宮市営球場・森林公園第一,第二野球場・瀬戸市民球場  
中部大学第一高校・多治見市営滝呂公園野球場・毘森公園野球場 他
- 《参加チーム》 全国から32チームが参加
- 《主催》 全日本少年硬式野球連盟 中日本ブロック 東海支部 東海スラッガーズ
- 《後援》 愛知県・春日井市・愛知県教育委員会・瀬戸市、春日井市各教育委員会・  
一宮市教育委員会・全日本少年硬式野球連盟・日刊スポーツ新聞社 等

## 《主な大会役員》

名誉顧問	森 本 実	全日本少年硬式野球連盟 専務理事
名誉顧問	赤 松 広 隆	衆議院議員
名誉顧問	梶 田 晃 男	前春日井市議会議員
名誉顧問	末 松 光 生	一宮市議会議員
名誉顧問	水 野 豊 明	元愛知県議会議員
名誉顧問	島 村 充 哉	全日本少年硬式野球連盟 中日本ブロック長
名誉顧問	上 山 武 士	全日本少年硬式野球連盟 東海支部長
大会会長	松 田 功	東海スラッガーズ 会長 (北名古屋市議会議員)
大会委員長	三 輪 尚 宏	東海スラッガーズ 代表
大会運営委員長	石 井 文 雄	東海スラッガーズ 副代表
大会事務局長	坂 東 美 穂	東海スラッガーズ 事務局
大会事務局	高 橋 ゆ かり	東海スラッガーズ 事務局
大会事務局	松 本 哲 也	東海スラッガーズ 事務局

《大会冊子発行予定部数》 2,000部

全日本少年硬式野球連盟(ヤングリーグ)は、平成5年3月に設立され東北から九州/沖縄までの200を超える所属チームを擁する小学生・中学生を対象にした組織です。

東海スラッガーズは、中学生を対象にしたクラブチームとして平成11年7月に当連盟に加入しました。経験豊富な監督・コーチが基礎レベルから高校へ入ってすぐ試合に出られるようなハイレベルまで指導します。

「あいさつ」を重んじ、「思いやり」・「感謝」といった精神面の指導にも力を入れ、思春期の人間形成をサポートします。



全日本少年硬式野球連盟  
中日本ブロック 東海西支部  
東海スラッガーズ

# ICT教育 シンポジウム

情報通信技術 (ICT) の利用・活用方法を  
教育の一環として取り入れた授業の創造

Information Communication Technology Education

2020年に向けて文部科学省が進めているICT教育の内容を  
基礎から紹介するプレゼンテーションで理解を深めて頂き、  
スペシャリストによるICT教育の魅力や実践例などを知る  
iTeachers TVの公開収録を行います

主催：瀬戸市民講座推進協議会

## Special Guest

教育ICTコンサルタント 小池 幸司 様  
デジタルハリウッド講師 栗谷 幸助 様



2017.11.04.Sat  
13:00 - 16:00

パーティセと5F アリーナ  
愛知県瀬戸市栄町45番地

【お問い合わせ】

[info@seto-spirit.club](mailto:info@seto-spirit.club)



- ☆講演会後のアンケートでは95%以上の保護者が『大満足』の高評価!
- ☆スーパーティーチャーの第2回講演会!

## 障害の有無に関係ない 特別支援教育の講演会のご案内

障がいの有無に関係なく、全ての保護者の皆様に聴いてほしい内容となっています。

また、将来を見据えた支援や各種機関との連携の仕方についても、多くの実践をもとにした適切で具体的な提案ができる会となっています。子育てに悩んでいる保護者の皆様（うまく褒められない・叱ってばかりいる）、子供について困り事（進路・不登校・反抗期）が有る方、特別支援教育（発達障害の疑いがある・通常学級か支援学級か迷っている）に関心をお持ちの方のご参加をお待ちしております。

### テーマ2『学習面や生活面に課題のある子の夏休み対策講演会』

- これで簡単! 読書感想文がすぐに書ける必殺技
- 無理なくできる夏休みの一課題・研究事例
- 夏休みに出かけるとよいおすすめスポットの紹介
- 毎日の生活リズムをくずさないよい方法

講師：山内康彦（学校心理士・ガイダンスカウンセラー）



日時：平成29年6月4日（日）

①10時～12時 ②14時～16時

会場：スカイワードあさひ くすのきホールA

《住所》尾張旭市城山町長池下4517-1 《TEL》0561-52-1850

定員：①40名 ②40名 計80名（先着順にて受付させていただきます）要予約

お申し込み方法：FAX申込み：裏面の申込書に必要事項をご記入のうえFAXして下さい。  
メール申込み：裏面を参考に必要事項をメールして下さい

放課後等デイサービス『IPPO』

TEL：0561-76-8995

FAX：0561-76-8996

MAIL：a.ootani@ippo-core3.com

株式会社「コアスリー」 放課後等デイサービス『IPPO』

S M C

瀬戸メサイア合唱団

# 第16回 チャリティーコンサート

2017年10月8日(日) (入場無料)

開場 13:30 開演 14:00

場所 瀬戸市文化センター文化ホール

指揮者 高岡 美千代

ピアノ 山田 晶子



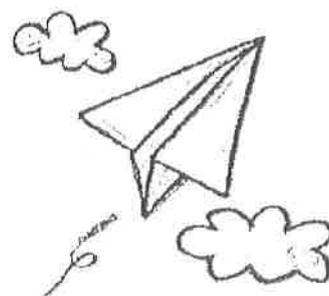
演奏曲 第1部 ヘンデル「メサイア」より 抜粋曲

第2部 ヴィヴァルディ「グローリア」より

バッハ「カンタータ 106」より

第3部 「NHK 朝の連続テレビ小説」主題歌より

- ・麦の唄(マッサン)
- ・～たいせつなあなたへ～(おひさま)
- ・いのちの歌(だんだん)
- ・雨のち晴レルヤ(ごちそうさん)



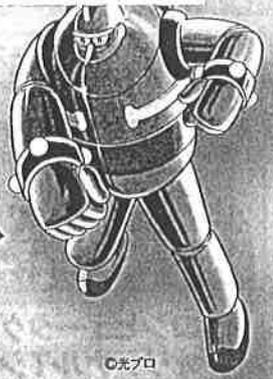
主催； 瀬戸メサイア合唱団

お問い合わせ； 梶田 ☎0561-82-2950 FAX0561-82-2980

ホームページ； <http://seto-messiah.mychorus.org>

昨年度例

# まるごと 体験ワールド



©光プロ

## 2016年8月6日(土)

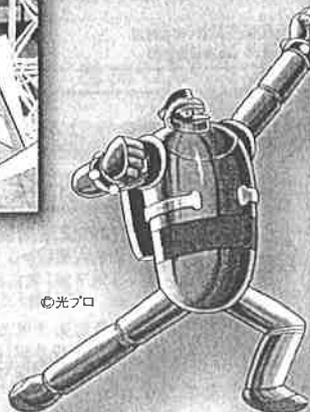
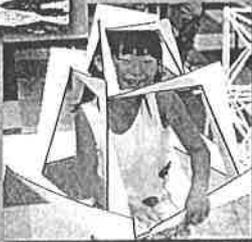


### ものづくりを 体験しよう!



©光プロ

### つくる まなぶ 体験する



©光プロ



主催

## AIT 愛知工業大学

後援

豊田市教育委員会  
みよし市教育委員会

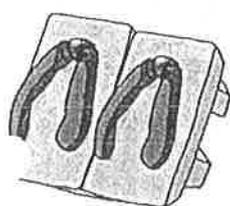
瀬戸市教育委員会  
長久手市教育委員会

せと市民活動応援補助金助成事業

夏休み 瀬戸こども芝居塾



# 瀬戸のまちを 演じてみよう!



～ヒーロー・ヒロイン大募集～

## \* 募集条件 \*

- ・瀬戸市内、または瀬戸市近郊にお住まいの方
- ・毎週のお稽古に参加ができる方
- ・小学校1年生～中学校3年生



\*また、下記のような方も大歓迎です!

- ・声優やタレントに興味がある
- ・瀬戸の歴史に興味がある
- ・人と話すのが苦手
- ・夏休みの思い出を作りたい



主催：和文化復興プロジェクト

後援：瀬戸市、瀬戸市文化協会

協力：Performance Act OUTSIDER

【保護者の方へ】

# お芝居を通じて、表現力、自主性、 コミュニケーションの楽しさを育てます。

## ■瀬戸こども芝居塾とは■

地域の伝統文化を機軸に、開かれた個としての能力向上を目指し、  
話し合う・創る・表現する能力を高める機会を提供します。

現在子ども達に求められている能力である「開かれた個」の必要要件として、  
地域の伝統、文化についての理解を深めるなど、自己を確立する事があります。  
取り組む内容を、学年に合わせて2つに分ける事で、上級生など一部の子ども達だけで  
内容を固めてしまわないようにしており皆が一緒になって考え、意見を出し合いやすい環境を設けます。  
他者を受容し、共に思考し、協力し合う事で、自立的に行動する能力や責任感を高めます。

## ■内容

小学1年生～小学4年生…瀬戸の民話の朗読発表  
小学5年生～中学3年生…瀬戸の文化・歴史に関するお芝居

## ■日程

顔合わせ 7月26日 ※顔合わせ前に事前説明会あり  
稽古 8月2、9、16、21、23日

## ■稽古時間

小学1年生～小学4年生…10:00～12:00  
小学5年生～中学3年生…13:00～16:00  
※進捗状況により変動します

## ■稽古場所

道泉地域交流センター（愛称：ぐるっぺ道泉）  
他、瀬戸市内公民館など  
道泉町 53-5

参加費  
無料



募集人数  
各10名  
ずつ

## ■発表会について■

### ■日時

8月29日 13:00～

### ■会場

せと銀座通り商店街特設会場

### ■準備とリハーサル

8月28日 10:00～17:00

### ■入場無料!

## ■講師：御陵正人■

瀬戸生まれの瀬戸育ち。陶原小学校、水無瀬中学校出身。  
10歳で『NHK名古屋放送児童劇団』へ入団。  
中学生日記の主役などを経て、高校3年時には団長を務める。  
その後『桐朋学園短期大学芸術学科 演劇専攻』へ進学。  
演出家 蛭川幸雄、篠崎光正らの教鞭を受ける。  
2007年『Performance Act OUTSIDER』を  
立ち上げ、全ての作品で脚本、演出、出演を手掛ける傍ら、  
和の伝統文化である大衆演劇の世界に触れ、愛知県唯一の  
大衆演劇劇団「御陵一座」を旗揚げ、全国で興行を行う。  
役者としての活動も行いながら和 cultura イベントのプロデュースや  
劇団コンサルティング、人材育成事業を行う他、舞台、イベント、  
司会、テレビ、ラジオ等の出演は現在までで800本を超える。

## ■参加方法について■

参加希望の方は、下記メールアドレスまで、

「①お名前②ふりがな③お電話番号④メールアドレス⑤学校・学年⑥意気込み」をご連絡ください。

電話 090-1835-9164

お問い合わせ

メール info@seto-wabunka.club

facebook <https://www.facebook.com/seto.wabunka/>

# 募集締め切り 7月7日

## 実施体制

愛知県立大学大学院人間発達学研究所が、科学研究費補助金「教育と社会福祉の連携によるウェルビーイングの実現をめざす教育福祉の総合的研究」に基づき、愛知県教育委員会と愛知県総合教育センターおよび近隣自治体教育委員会との連携による運営委員会を設けて内容を企画し、愛知県立大学教員を主な講師陣として研修事業を含む共同研究活動を実施します。

### 運営委員

望月 彰 (運営委員長・教育福祉論)  
宇都宮みのり (精神保健福祉論)  
大賀 有記 (医療福祉論)  
堀尾 良弘 (臨床心理学)  
村田 一昭 (子ども家庭福祉論)  
山本 理絵 (教育方法論・保育援助論)  
吉川 雅博 (言語発達支援論)  
平松 直巳 (愛知県教育委員会教育長)  
溝口 克治 (愛知県総合教育センター相談部長)  
深見 和博 (瀬戸市教育委員会教育長)  
河村 晋 (尾張旭市教育委員会教育長)  
伏屋 一幸 (豊明市教育委員会教育長)  
吉橋 一典 (日進市教育委員会教育長)  
堀田まゆみ (長久手市教育委員会教育長)  
石川 光秋 (東郷町教育委員会教育長)

### TA (ティーチングアシスタント) >

酒井多輝子 (スクールソーシャルワーカー)  
早川 真理 (スクールソーシャルワーカー)  
水野みち代 (スクールソーシャルワーカー)  
中村 豪志 (スクールソーシャルワーカー)

### ホームページ

愛知県立大学大学院人間発達学研究所オリジナルサイト内  
<http://www.ews.aichi-pu.ac.jp/ningen/ssw/>

## 申し込み方法

以下の要領で「参加申込書」(ホームページより入手)を作成し、専用メールアドレスに添付して申込期間内に送信してください。

### ◆「参加申込書」の記載事項

- ① 氏名 (ふりがな)・性別・生年月日
- ② 勤務校 (機関・職位・所在地)
- ③ 自宅住所・TEL/FAX
- ④ E-Mailアドレス
- ⑤ 作文「私の教育実践とスクールソーシャルワーク 教職員研修への期待」

### ◆作文 (上の⑤) について

「参加申込書」の所定の箇所に800字程度で入力してください。子どもたちがかかえている様々な困難にたいして、あなたが現在取り組んでいること、取り組みとしてしていること、取り組んでうまくいったり失敗したこと、本研修参加への抱負、学びたいことなどについてまとめてください。

### ◆専用メールアドレス: [ningen-h@bur.aichi-pu.ac.jp](mailto:ningen-h@bur.aichi-pu.ac.jp)

### ◆申込期間: 6月1日(木)～6月20日(火)

◆選考結果の通知: 申込者が多数の場合は、書類審査のうえ、学校種、地域等を考慮して参加者を決定します。選考結果は7月8日(土)午後5時までにE-Mailにて通知します。

### 《問い合わせ先》

〒480-1198 愛知県長久手市茨ヶ廻間1522-3  
愛知県立大学

望月 彰 研究室 電話 0561-76-8725  
学務部学務課 電話 0561-76-8822

# 愛知県立大学 スクールソーシャルワーク 教職員研修 2017

## 《実施日》

- ・第1回 - 8月8日(火) 午後1時～5時
- ・第2回 - 8月25日(金) 午前9時15分～午後5時
- ・第3回 - 10月14日(土) 午後1時～5時
- ・第4回 - 12月16日(土) 午後1時～5時

## 《研修会場》

愛知県立大学 (長久手キャンパス)  
学術文化交流センター・多目的ホール

## 《主催》

愛知県立大学大学院人間発達学研究所

## 《連携》

愛知県総合教育センター

## 《後援》

愛知県教育委員会  
瀬戸市教育委員会  
尾張旭市教育委員会  
豊明市教育委員会  
日進市教育委員会  
長久手市教育委員会  
東郷町教育委員会

原稿

## 《目的》

近年学校現場では、いじめ、不登校、非行などの問題への対応に苦慮するとともに、特別支援教育や子どもへの貧困問題への対応等に新たな展開が求められています。

その状況に対して、スクールソーシャルワークの視点や方法の有効性が確かめられます。本講座では、教員等学校関係者がスクールソーシャルワークについて学び、問題解決の力量を高めるとともに、スクールソーシャルワークの業務を理解できる教職員を増やし、学校を中心とする協働体制づくりを目指します。

## 《参加者対象者》

① 学校教育現場において、困難を抱える子どもへの支援や保護者との信頼関係づくりに取り組んでいる教職員。

② ソーシャルワークについて理解を深め、自らの専門能力を高めると共に、スクールソーシャルワーカーの導入による学校内及び地域での協働体制の構築を図りたいと思っている教育行政関係職員。

\* 定員20名

\* 参加費無料

## 《特徴》

本研修は、子どものウェルビーイング実現をめざすものであり、さらに、下記の特徴を持つ研修です。

① 社会福祉学の専門家による講義をベースに、ソーシャルワークの視点と技法の習得に焦点をあてた研修。

② 参加者が直面しているケースをはじめ具体的な事例を検討して、問題解決の見通しを習得できる研修。

③ 4回の研修を通して、講師陣との双方向の関係や参加者同士の連携を深めることのできる研修。

## 日程

### <第1回>

8月8日(火)  
午後1時～5時

\* 講義(1) ソーシャルワークの視点と価値

\* 講義(2) ソーシャルワークの方法 - アセスメント

\* 演習(1) アセスメントに関する演習

### <第2回>

8月25日(金)  
午前9時15分～12時  
午後1時～5時

\* 講義(3) スクールソーシャルワーカーとは

\* 講義(4) ケース会議の持ち方 - いじめ・非行事例

\* 演習(3) 不登校/発達障がいに関する事例演習

\* 講義(5) 不登校/発達障がいについての理論的整理

### <第3回>

10月14日(土)  
午後1時～5時

\* 講義(6) 貧困問題についての理論的整理

\* 演習(4) 貧困問題/保護者対応に関する事例演習

\* 講義(7) 虐待問題についての理論的整理

### <第4回>

12月16日(土)  
午後1時～5時

\* 演習(5) 修了レポート「ソーシャルワークの視点を活かした私の教育実践」に向けて

\* 講義(8) 多様な保護者に寄り添う学校づくり

## 講義演習題目

## 概要

・ 子どもと教育をめぐる基本問題に対して、社会福祉学、特にソーシャルワークの視点を提起すると共に参加者の問題意識の共有化を図る。  
・ 問題発見とアセスメントに関するソーシャルワークの方法を学ぶ。

・ ソーシャルワークの原理に基づくケース会議の運営方法を学ぶ。  
・ 模擬ケース会議を通して、スクールソーシャルワークの基本的な理解を習得する。  
・ いじめ、非行、不登校、発達障がいの子ども事例検討を通して理解を深める。

・ 深刻化する子どもの貧困の問題や虐待について基本的な理解を深めるとともに、事例を通してソーシャルワークによる支援のあり方を学ぶ。  
・ 保護者との信頼関係づくり、地域のリソースと連携した家庭支援についても理解を深める。

・ いま参加者が直面している事例を交流しながら、研修の成果を今後の教育実践に活かしていく見通しを得る。  
・ 外国人児童生徒の保護者や不安の大きい保護者など多様な保護者に寄り添い共に学校をつくっていく教育実践を展望する。

拙い作品を並べましたが、  
どうぞ御高覧賜りますよう  
御案内申し上げます

特別出品

松下芝堂先生遺作

前会長

遠山翔雲遺作

会場 瀬戸市文化センター  
文化交流館 三階

会期 平成28年6月11日(土)  
12日(日)

午前10時～午後6時  
(最終日は午後3時まで)

後援 瀬戸市教育委員会  
瀬戸市新聞文化協会  
瀬戸市社会

墨翔会

〒489-0989 瀬戸市山手町67  
遠山紫峰方  
電話(0561)82-7228

勝手ながら御祝儀・御祝い等の御芳志は  
伏して御辞退申し上げます



**9月事業の開催(案)承認の件**

審議

- 資料 No. : 12-5
- 事業名 : 9月事業開催
- 委員会・特別委員会名 : 輝く人財育成委員会
- 担当役職・役員名 : 担当副理事長 : 河路 貴哉
- 委員長・特別委員長名 : 委員長 : 鈴木 昭紀
- 文書作成者役職・氏名 : 副委員長 : 服部 紘直
- 上程日 : 2017年4月26日
- 確認日 : 2017年4月25日
- 作成日時 : 2017年4月24日

[トップ](#)/[事業要綱](#)/[事業概要](#)/[審議対象資料](#)/[前回までの流れ](#)/[上程日程](#)/[参考資料](#)/[事業予算](#)

**事業要綱**1. 事業実施に至る背景

「輝く人財とは」と問われたとき、夢や想いを実行し形作っている人物であると考えます。多くの人は夢や理想を持ちそれに近づけるよう努力をしています。しかし、ほとんどの人は周囲からの言葉や自分自身の不安などの要因から諦め、結果として叶えられずにいるのを感じます。

我々自身が輝く人財となるには、学びや経験から気づきを得て具体的な行動に変えていく必要があります。その為に、輝く人物から夢や想いに向き合う姿勢や考え方を学び、先入観や固定観念に捕われず実行していく為の考え方の指針を持つことで誰もが輝く人財になれると考えます。

2. 事業の対象者

対外対象者: 春日井市の市民及び近隣に在住の市民

対内対象者: (公社)春日井青年会議所メンバー

3. 事業目的 (対外)

想いや望みに対して自身が行動することの大切さを知って頂くとともに、周りの実行している人たちを応援できる心を育むことを目的とします。

4. 事業目的 (対内)

想いから実現するに至るまでのプロセスを学んで頂き、一貫性のある考え方に気づいて頂きます。それを理解することで、より活発な議論のできるLOMメンバーの育成とLOMの活性化を目的とします。

[トップ](#)/[事業要綱](#)/[事業概要](#)/[審議対象資料](#)/[前回までの流れ](#)/[上程日程](#)/[参考資料](#)/[事業予算](#)

**事業概要**1. 実施日時

講演会 2017年9月22日(金) 18:00~20:00 (開場 17:00)

作品展 2017年9月13日(水) 13:00~20:00

2017年9月14日(水) ~ 9月23日(土) 10:00~20:00 (18日休館日)

2017年9月24日(日) 10:00~15:00

2. 実施場所・会場

作品展 ギャラリー  
文化フォーラム春日井 (春日井市鳥居松町5丁目44番地)

講演会  
春日井市民会館 (春日井市鳥居松町5丁目44番地)

3. 参加員数計画並びに参加推進方法

対外 講演会 860人  
作品展 2000人  
対内 134人

- 【参加推進方法】
- ① 市内学校(小学校、中学校、高校、大学)への告知。  
 ② 他団体、地域団体等への訪問。  
 ③ 各メディア(広報春日井、中日新聞くらしのニュース、ケーブルテレビ、はるるなど)でのPR。  
 ④ 春日井市内公共施設他、市内各所へのポスター掲示によるPR。  
 ⑤ LOM内SNS等のインターネット媒体でのPR。  
 ⑥ チケットペイでの販売  
 ⑦ 協力団体を通しての販売及びPR  
 ⑧ LOMメンバーからの販売
- 【参加推進方法】  
 発送文書、電話動員、委員会訪問等により動員をします。  
 各委員会に協力をお願いをし、メンバーの動員と役割を担って頂きます。

対内

電話動員担当  
 正副理事長・監事 鈴木昭紀  
 総務運営室 濱村友一  
 地域力創造発信室 堀尾成臣  
 ひととまちが共鳴する社会構築室 東季実子  
 会員拡大委員会 井上義崇  
 「どうかい号」支援室 渡邊文佳  
 渉外広報活動実行委員会 岩田隆文

4. 予算総額 ￥2,035,000

事業収支予算書へ

5. 外部協力者・協力種別

- 【講師】 西野 亮廣 氏(吉本興業所属・芸人、絵本作家)  
 【共催】 春日井市  
 【後援】 春日井市教育委員会 公益財団法人かすがい市民文化財団 愛知県教育委員会  
 (公社)愛知県私立幼稚園連盟 (一社)愛知県私立保育園連盟  
 小牧市教育委員会 瀬戸市教育委員会 北名古屋市教育委員会 名古屋市教育委員会  
 尾張旭市教育委員会 犬山市教育委員会  
 【協力】 えんとつ町のプペル展支援委員会

6. 引用著作物の有無 有

様式8へ

7. 対外配布資料の有無 有

- 作成物 チラシ(表) チラシ(裏)  
 市内全小中学校 市内全保育・幼稚園  
 市近郊高等学校・大学・専門学校  
 市近郊の飲食店等の店舗  
 市内公共施設
- 作 物 ポスター  
 市内全小中学校 市内全保育・幼稚園  
 市近郊高等学校・大学・専門学校  
 市近郊の飲食店等の店舗  
 市内公共施設 市内駅
- 作成物 チケット  
 手売り・チケットペイにて販売
- 作成物 参加者用チラシ  
 作品展来場者

8. 公益性の有無 有

9. メーリングの有無 有

10. 実施組織

- 事業総括 委員長 鈴木 昭紀  
 資料作成 作品展統括 副委員長 服部 紘直  
 講演会統括 副委員長 東 季実子  
 講演会司会 渡邊 文佳、岩田 隆文  
 講演会受付 濱村 友一、井上 義崇、会員拡大委員会  
 講演会設営 堀尾 正臣、濱村 友一

## 11. 事業内容(目的達成のための手法説明)

春日井市文化スポーツ都市宣言 記念事業  
「えんとつ町のプペル」光る絵本展 in春日井  
変人西野トークライブ ～道なき道の歩き方～

【作品展】「えんとつ町のプペル」光る絵本展 in春日井

(目的)  
ニューヨークや日本各地で称賛されている講師の絵画に間近で触れて頂き、世界観を知り制作にあたっての想いなど想像して頂き感じてもらう機会とします。また子供達を引率する父兄への講演会への間口とします。

(内容)  
西野亮廣氏が4年半構想を重ね生み出した《えんとつ町のプペル》を中心とした作品(11月に1000万円で落札され、寺院に奉納されたものと同じもの)を展示し、講師の想い描いた「夢」が現実になった形に触れて頂きます。  
ホール内では単純に絵画作品を展示するだけでなく、会場のライトや音楽などを活用し、より西野氏の追及するファンタジーの世界を作りこみます。そのような仕掛けをすることで、期間中に一度だけでなく複数回足を運んでもらえるようにします。また、子供達が飽きてしまわないよう、広く自由に絵が描けるコーナーを設けます。

【講演会】変人西野トークライブ ～道なき道の歩き方～

(目的)  
同氏の貫く生き方、批判されても走り続ける為の考え方を語って頂き、夢に向かって努力し続けること・またそれを応援することの大切さを感じ取って頂くことを目的とします。

(内容)  
作品展の期間終盤に、西野氏の講演会を開催します。

1.講演会 テーマ:「夢に向かい行動することの大切さ」  
なぜお笑い芸人から絵本作家になるに至ったか、またその時の周囲からの批判の声や不安に対する対処。夢に向かい行動するときの大切な考え方や持っておくいいアイデアなどを語って頂きます。

2.パネルディスカッション テーマ:「《えんとつ町のプペル》が誕生するまで」  
世界で初となる分業制で制作された「えんとつ町のプペル」は、どのような想いがあり《えんとつ町のプペル》を作ることになったのか。制作にあたっての問題点をどのようにして実現していったのかなど、絵本の製作秘話をパネルディスカッション形式で紐解いていきます。  
また、自身でプロモーションまで手掛ける理由やもう一つの著書であるビジネス書「魔法のコンパス 道なき道の歩き方」からも強く生きるヒントを語って頂き、パネリストを採用することで事業目的へ着地にするよう導きます。

コーディネーター : 渡邊文佳委員  
パネリスト : 西野亮廣氏・河村副理事長・河路副理事長・泰丘局長

1・2の終了後に、アンケートを回収することで、事業目的の達成に繋げ、また効果集客方法についての検証を行い、今後の事業の参考になるような形を残します。アンケートの結果は事業結果報告に記載します。

3.絵本の朗読  
氏による絵本の朗読。作家である氏自ら朗読を行うことで、単に文章でなぞるだけでなく、氏が作品に込めた熱い思いを感じ取ってもらい、一つの作品や仕事にかける思いの深さを学んでもらいます。また参加者の記憶に残る設えをすることで、参加者にとってより意味のある事業にします。

会場選定について  
作品会を文化フォーラム春日井、講演を春日井市民会館とします。理由は、春日井市内の公共施設で唯一のギャラリーを持つ施設であることです。また講演会場の春日井市民会館は、これまでの講演実績からも、認知度が春日井市内では最も高く、また交通の便においては、春日井市の中心に位置し、JR春日井駅、JR勝川駅、名鉄小牧駅等への名鉄バスもあり、駐車場の台数も含めて最も適していると思われまます。

共催について  
春日井市に共催して頂くことと、広報しやすくなり集客の助力となるとともに、会場費や備品の手配等の融通がきくようになります。

後援について  
教育委員会、かすがい市民文化財団・中日新聞社・中部ケーブルネットワークに後援を頂きます。後援を頂くことで、ポスター掲示やチラシの配布が行いやすくなり、集客力が見込めます。

講師の選定について  
来場者にとって最も効果性の高い人物という観点で選定しました。特に集客力や知名度も重要視しました。

メディア  
中日新聞社・中部ケーブルネットワークの後援を頂くことで、ポスター掲示や中日新聞近郊版や地域情報紙に取材してもらいやすくします。広報春日井や中日新聞などのメディアを利用した広報での集客を軸としていくことで、多くの市民に広報していきます。メディアへの展開としては、中日新聞くらしのニュースに取材して頂きます。

SNS  
審議通過後に、春日井青年会議所のFacebookとLINE@で告知をさせていただきます。メンバーの方にもシェアして頂くことにより、広告の拡散にご協力を頂きます。



# パパは

2幕5場

上演時間 1時間45分

(休憩10分含む)



## ◎あらすじ

パパはマジシャン！腕も一流！でも、ちっとも仕事に来ない。どうしてかしら？

不景気のせい？多分ね。でも、それだけじゃないと思う。だって、お仕事大好きなはずなのに、パパったら、なぜかまるでステージに出たくないみたいなんだから。

実は私、小さい時から目の病気で、今は何も見えなけれど、いつか手術をして、見えるようになったら、一番最初にパパのマジックを見せてもらう約束なの。

だから、私、思い切って、幼なじみのダニエルと一緒に、パパがずっと前、ショーに出ていたホテルの劇場へ行行って、支配人に直接会ってみることにした。

『パパは、マジックをやめてしまったんでしょうか？』

そしたら、そこへパパのライバルだったマジシャン、メアリーがやってきて、大変なことがわかったの。その上、どういうわけかパパとメアリーがマジック対決をすることになっちゃって……でも、これはパパにとってはチャンスだわ！

いよいよ、マジック対決の日！パパ、やっとヤル気になったのに、信じられないことが起きたの。マジックの最中、突然パパが倒れた……

『パパ！このままじゃメアリーさんに負けちゃうわ！』

皆、パパは病気なんだって言うけれど……ううん、これは事件よ！なんだかメアリーさんがあやしいわ！

でも、だからといって、なにをどう証明したらいいの？この私になができるの？

とにかく、パパにもう一度お仕事が来るように、私、がんばる！

## ◎スタッフ

脚	本／村田里絵
演出	出／平塚仁郎
美術	術／牧野良三
音楽	楽／浅川喜雄
照明	明／杉本孝夫
音響	響／殿村佳誠
衣装	装／本田あや子
小道具	具／野村キク
装	置／CSS総合舞台
	〃／アートセンター
	マジック指導／前田奈美
	〃／一文字渚
制作	作／岩崎敏之

## ◎登場人物

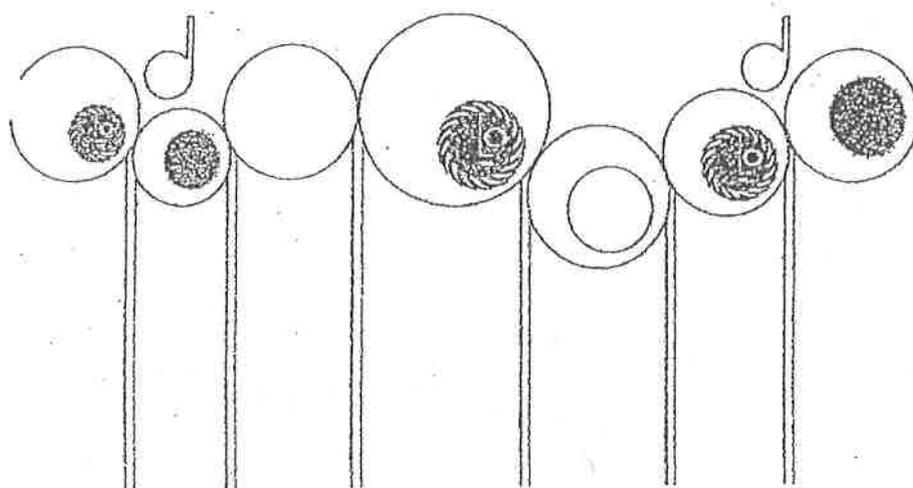
- パトリシア
- ジョージ(パパ)
- リンダおばさん
- ダニエル(友だち)
- トニー(ダニエルの父)
- メアリー(マジシャン)
- クラリー(その助手)
- マイケル支配人
- ウライスキー(プロデューサー)
- ミッキー(魚屋)
- 司会者
- ショーダンサー



合唱・大編成楽器演奏 参加20団体

前回パンフレット

## 第32回 瀬戸合唱フェスティバル



日時 2016年9月4日(日)

開演 11時00分 開場 10時30分

場所 瀬戸市文化センター 文化ホール

入場無料

主催 瀬戸音楽連盟

後援 瀬戸市 瀬戸市教育委員会 瀬戸市文化協会

中日新聞社 瀬戸第九をうたう会



夏休みこそ  
英語体験!

2017

# オール イングリッシュ キャンプ

実施日

7月27日(木)~29日(土)

キャンプ地

福井県立奥越高原  
青少年自然の家

英語と野外体験が  
一緒に出来る!

子どもの時間に余裕がある夏休みは、英語に挑戦するチャンスです! 大自然の中でいろいろな活動を通して、英語にふれてみませんか? 各チームに外国人講師とバイリンガルの日本人講師が入るから、英語が話せなくても大丈夫! 今年の夏は、みんなで楽しく英語体験をしよう!

## キャンプの日程

### 1日目

#### 〇まるごと体験! オリエンテーション

キャンプソングや名前ゲームなど、みんなと仲良くなるためのウォーミングアップをするよ。館内ウォークラリーでは、チームで助け合ってミッションをクリアしよう。

#### 〇English Fun Time

英語を使ったさまざまなコミュニケーションゲームで楽しみます。いっしょうけんめいにとりくめば自然に英語が耳から飛び込んできて、わかるようになってっやう!

### 2日目

#### 〇ウォークラリー

森の中を歩きながらシートに書かれた質問の答えを見つけよう! どのチームが早く答えを見つけられるかな?

#### 〇English Party Time

英語でゲームをしたり、歌を歌ったり、ダンスをするよ~! みんなで一緒に楽しく英語を使って活動しよう! もっともっと英語がわかるようになること間違いなし!

#### 晴天の場合 キャンプファイヤー

みんなで過ごす最後の夜。赤く燃える火のそばで、マシュマロを焼いてクラッカーにはさむスマア作りをします。とびっきりおいしいよ!

#### 雨天の場合 キャンドルナイト

それぞれのキャンドルに火を灯し、ツリーに立てます。キャンドルの火が幻想的で、とってもきれいです。

### 3日目

#### 〇魚つかみ

キャンプで毎年一番人気の魚つかみをするよ! 山のきれいな水で育った魚をつかんで、自分たちで調理して食べます! 自分で、つかまえた魚は、最高においしいよ。Let's eat!

# 2017

# 文化体験講座

夏休み期間中に、瀬戸市文化協会会員が講師を務める初心者を対象とした文化体験講座を開講します。  
長い夏休み、子どもさんたちの新しい体験と楽しい思い出づくりのお手伝いをさせていただきます。  
参加費無料の講座です。皆さまのご参加をお待ちしています。

■会場 瀬戸市文化センター文化交流館 他

■対象 初心者の学生等

※ 講座によって対象者が異なります。詳しくは裏面の各講座の内容をご確認ください。

■主催 公益財団法人瀬戸市文化振興財団／瀬戸市文化協会

▼後援 瀬戸市教育委員会

受講  
無料

## 講座

- ① 楽しく漢字を学ぼう
- ② おどってみましょう！日本のおどり
- ③ 子供茶道教室 裏千家
- ④ 百人一首で楽しく遊ぼう
- ⑤ 津軽三味線
- ⑥ 楽しく箏をひきましょう
- ⑦ 楽しくお茶を！
- ⑧ 子供太鼓教室
- ⑨ 楽しく囲碁入門
- ⑩ 大書に挑戦
- ⑪ ハッピーマジック教室
- ⑫ 香りと押し花
- ⑬ やさしい箏はじめ
- ⑭ 楽しく体験しよう フラダンス講座
- ⑮ お箏を少々
- ⑯ 金箔で遊ぼう

詳しくは裏面を参照してください。 →

## 受講申込方法

ハガキに「文化体験講座受講希望」と明記のうえ、必要事項(①希望講座、②住所、③参加者氏名、④電話番号、⑤学校名、⑥学年・年齢)を記入して、下記までお送りください。

インターネットで申込みの方は、(公財)瀬戸市文化振興財団のホームページ(<http://www.seto-cul.jp/>)から、[INFORMATION]⇒[2017文化体験講座]をご覧ください。(インターネットでの申込みは6月15日(木)から開始します。)

QRコードを読み込むと、直接登録画面へ移動します。

ハガキの記入方法

※原則として、全日程参加可能な講座へお申し込みください。

※応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。

※応募が少ない場合、講座が開講されないことがあります。

●ハガキの送付先

〒489-0884 瀬戸市西茨町113-3  
(公財)瀬戸市文化振興財団あて

●問い合わせ先

(公財)瀬戸市文化振興財団 TEL:0561-84-1093

スマートフォン用



携帯電話用



申込締切  
7/1(土)必着

(表)

〒489-0884  
瀬戸市西茨町 113-3  
  
(公財)瀬戸市  
文化振興財団 あて

(裏)

文化体験講座受講希望  
①希望講座  
②〒 住所  
③参加者氏名  
④電話番号  
⑤学校名  
⑥学年・年齢

# NHK 全国学校音楽コンクール

## 参加のご案内



### 課題曲テーマ

仲間と一緒に歌いながら、  
自分だけの「夢」と出会ってほしい。  
合唱を通して、それぞれの「夢」を  
かなえる力を育てていってほしい。  
そんな願いをこめて、  
テーマを「夢」としました。

コンクールの最新情報はホームページでご覧いただけます

<http://www.nhk.or.jp/ueon/>

ご参加いただくにあたっては、この「参加のご案内」と  
各都府県地区コンクールのご案内をあわせてお読みください。  
お申し込み用紙(8・9ページ)の参加申込書をお使いください。



OSN

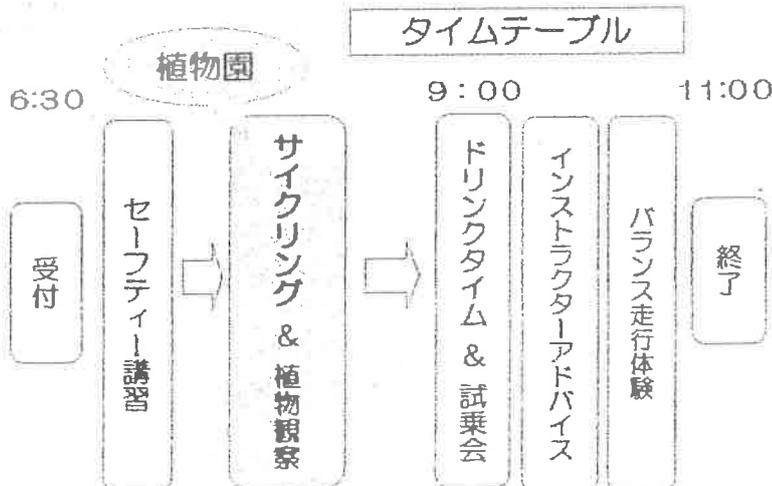
森林公園植物園 セーフティー！サイクリング

みんな集まれ

朝 森へ！

7月9日(日) 6:30~11:00

CYCLING in the FOREST PARK



わくわく！さわやかなコース

- サイクリングは 約6キロ
- ・コースの95%が舗装路
- ・スタッフの後を一列走行
- ・ゆっくりとしたスピード
- ・植物観察も楽しみ！

インストラクター  
 OSCNじてんしゃスクール指導員  
 愛知県自転車安全教育指導員  
 愛知県警第一交通機動隊B-Force  
 愛知県守山警察署交通課  
 森林公園植物園指導員

自転車で走れるのは、この日だけ！（事前申込）

この交通安全啓発のサイクリングは、ウッドフレンズ共同企業体の自主事業です。

運営 : OSCNじてんしゃスクール 事務局 (尾張旭・セーフティー・サイクリスト・ネットワーク)

後援 : 環境省中部地方環境事務所SBJ・愛知県教育委員会・尾張旭市・尾張旭市教育委員会

協賛協力 : 愛知県警第一交通機動隊自転車対策小隊B-Force・愛知県守山警察署交通課・あいちエコモビリティライフ推進協議会  
パナソニックサイクルテック・G!ANT名古屋・ドバツライノハウス・前原デンタルクリニック・愛知県教育有志  
翠香書院・ターゲットフリーク有志・まえまえくらぶ有志

助成 : 尾張旭市市民活動促進助成金

SMART/IKE

第4回 第2次瀬戸市教育アクションプラン推進会議  
議事録

日時：平成29年5月25日（木）午後3時から午後5時10分まで

場所：瀬戸市役所4階大会議室

出席者：

<会長>上川 和子

<副会長>吉田 淳

<委員>一尾 茂正、田中 直美、西原 勇、服部 智志、深見 和博、福岡 明、  
福田 直美、福留 正康、船坂 礼子、水谷 友里、和佐田 強（50音順）

<オブザーバー>田口 浩一（交流学び課長）、服部 文孝（文化課長）、藤井 邦彦（交流活力部次長兼地域活動支援室長）、山崎 康永（健康福祉部次長兼こども家庭課長）、上田 喜久（社会福祉課長）、山下 峰司（健康課長）

<事務局>涌井 康宣（教育部長）、松崎 太郎（学校教育課長）、阪本 有一（学校教育課主幹）、中桐 淳美（図書館長兼視聴覚ライブラリー館長）、原 充弘（教育部企画補佐兼学校教育課課長補佐）、加藤 淳（学校教育課専門員兼指導係長兼指導主事）、清水 隆之（学校教育課企画係長）、水野 華（学校教育課主事）

議事録：

（会長挨拶）

先日、市民活動センターの総会があり出席した。200を超えるボランティアの団体が登録されており、様々な方が活躍されている。そういった方々にも、この教育アクションプランをお届けしなければならないと強く感じた。学校だけでなく、市民活動の中でも、瀬戸に住み一生学び続けることの大切さがあり、活動されている方とアクションプランを共有し、ご意見を交えることの重要性を考えた。子どもへの支援や、ハンディキャップを抱えた方を支援する方々、公民館等で活躍されている方々、様々な分野で活躍されている方が存在していることを委員の皆さんにも知っていただき、様々な機会でアクションプランの存在を周知することで、瀬戸のまちがより豊かで、より暮らしやすく、一生学び続けることができるまちづくりができるということを広めていっていただきたい。皆さんと議論しながら、アクションプランをより良いものに育て直す1年としていきたい。

#### 1 新任委員の紹介

学校教育課長より、資料1に基づき3人の新任委員を紹介。

## 2 報告事項

### (1) 平成 29 年度の組織・事務分掌・予算概要について

学校教育課長並びに図書館長より、資料 2 に基づき概要説明。

### (2) 平成 29 年 5 月 1 日現在の児童生徒数について（資料番号 3）

学校教育課企画係長より、資料 3 に基づき概要説明。

## ○委員

この表にあるのは、瀬戸市立の学校に在籍する児童生徒数ですが、瀬戸市在住でここに載ってない児童生徒、多治見や春日井の学校に通っている児童生徒数の他、県立の特別支援学校、国立の学校、私立の学校、朝鮮学校やブラジル人学校に通う児童生徒数を、それぞれ可能な範囲で教えていただきたい。反対に瀬戸市に住んでいないけれど、この表に載っている児童生徒は何人くらいいるのか。また、就学義務のない外国人児童生徒で学校に通っていない子はいるのか。加えて、要望だが、この表にない児童生徒の存在を知らない市民を作らないためにも、来年度以降、今、申し上げた児童生徒数についても記載していただきたい。

## ○事務局

委員より事前に質問事項を問い合わせていただき、別紙資料 3-1（当日配布）により整理した。この様式に従い、来年度からは併せて報告させていただく。なお、資料から漏れている朝鮮学校やブラジル人学校、就学義務のない外国人児童生徒数については、正確な人数は把握していない。

## ○会長

考えていたよりもたくさんのお子どもたちが、瀬戸市立以外の学校や特別支援学校に行っていることがよく分かった。その子どもたちの存在をしっかりと認識することは大変重要である。

### (3) 小中一貫校整備に向けたスケジュール等について

学校教育課長より、資料 4 に基づき概要説明。

## ○委員

新設校のトイレについての要望ですが、トイレで列ができるのはほとんどの場

合、女子用である。大きな駅などでは、女子トイレの入り口には常に列ができており、見るたびに女子トイレの広さや便器の数を、男子用よりも増やすことの必要性を感じる。新設される学校のトイレが男子用よりも女子用を広く作られた場合、そこで9年間生活した子どもたちは、多くの人を使うトイレは、女子用を広くするのが普通だと考えるようになる。私のように、ある属性に我慢を強いる環境の存在に気が付かなかったり、問題意識を持たなかつたりする子どもを育てたくない。ICF（国際生活機能分類）やユニバーサルデザインの概念にそった取組を推進することで、教育理念の実現に繋がりたいと考えており、是非検討していただきたい。

#### ○事務局

全市的に小中一貫教育の推進に取り組んでいく中で、今回の新しい学校は、ソフト・ハードの両面で既成概念を超えていきたいと考えている。課題もあるが、ご指摘のユニバーサルデザイン等をはじめ、理念実現のため取り組んでいきたい。

#### ○副委員長

私自身の校長経験の中で、校舎の改築を行ったことがあり、お伝えしたいことがある。トイレについて、従来のタイル張りではなく、乾式トイレにすることや、一般家庭にあるような温水便座を導入することで、学校でのトイレが敬遠されることなく、安心してトイレができる環境を整えることになり、子どもたちの健康状態も良くなっていくということがある。2点目はセキュリティで、学校内での殺傷事件は10数年前にも大きな事件があったが、不測の事態の時に、教室に鍵をかけることで、不審者の侵入を防げるようになるかということ。3点目は、空調を整備することで、快適学べる環境を整えるということ。新しい教育のモデルケースを作るということで、子どもたちや教員にも優しい環境を整えることをお願いしたい。

#### ○事務局

3点ご指摘をいただいたが、今後50年以上愛される学校づくりを進めるに当たり、トイレについても然り、もう少し先も見越した設計に取り組みたい。セキュリティについては、昨今、教室と通路、ワークスペースなどとオープンになっている環境が評価されている面があり、今後、現場の先生方とも議論を深めていく予定である。これまで、地域とともにある学校という大きなコンセプトをお示しており、機械に頼るのではなく、地域の方に常に子どもたちの安全に目を配っていただくなど、地域とのつながりを深めることもセキュリティ対策の一つと考

えている。空調の必要性は理解しているが、現地が丘陵地で里山に隣接している環境から、建物の中の風の流れをコントロールすることで快適さを確保するという可能性もあり、様々な検討をしていきたい。

#### ○委員長

地域とともにある学校という内容もあったが、例えば、地域の方が学校の草むしりをした後、休憩やお茶を飲むスペースであったり、読み聞かせボランティアの打合せ・作業スペースであったり、色々な場面で地域の方々が集う場を作っていただきたい。これまで5地区でそれぞれの学校とつながっていた方々が、初めて出会うわけで、一緒に話し合い、活動ができる場所を作っていただきたい。

#### ○事務局

地域の方々を単なる支援者としてではなく、新しい教育を進めるパートナーとして関わっていただきたいと考えている。設計のコンセプトでは地域の方々が活用しやすいスペースを確保することを盛り込んでいる。各地区では、開校準備に向けた協議会も立ち上げていただいております、開校後、地域と学校の関わりについても議論を尽くしていきたい。

#### ○委員

本校の職員の中に、このモデル地区で計画地から1.5 km程の所に住んでいる方がおり、スクールバスのことに関心が高いと言っていた。

#### ○事務局

通学への関心が高いことは承知しているが、反面、文科省の方でも徒歩通学の重要性についても指摘している。直線で1.5 km以遠の町の児童生徒をスクールバスの対象と一定の基準を示しているが、この基準を基に、地区協議会や等にPTAの皆さんと、しっかり議論を進めていきたい。併せて、安心して徒歩通学ができる環境整備も重要であり、バスと徒歩通学の両論で、納得感の高い結論を出していきたい。

#### ○教育長

本市は、“生き抜く力の育成”を基本的な方向性と示しているが、子どもたちの将来のためにしてあげなくてはならない環境整備ということを念頭に検討を進めたい。

○委員

小中高一貫教育を進める先生たちが集まる勉強会に出席してきた。カリキュラムもそうだが、小・中の先生同士の背景が大きく違うことが浮き彫りになり、そこに時間をかけて検討することが重要であることが分かった。また、高校との連携の必要性も感じた。社会に一番近いのは高校であり、新しい指導要領でも高校での教育について多くの提言がある。瀬戸には4つの公立高校があり、各校とも地域との活動も活発に行っている印象もあるため、瀬戸らしさという側面からも、連携を図ることで、見えてくることがあるのではないかと感じている。

○委員

瀬P連として要望してきた頃から時間も経ち、話がどんどん具体的になり、楽しみな反面、心配な部分もあるが、とにかく、子どもたちの教育環境が向上することと、楽しく学校生活を送れるようにしてもらいたい。

○委員

スクールバスの話があったが、私の子どもは花粉症が重く、その時期には送迎をしている。保護者や子どもたちには様々な事情がある場合があり、是非駐車場をしっかりと確保して欲しい。

○委員長

現地は坂道も多く、冬季などは雪や凍結による影響も考えられる。また、学校直近は民家も少ないので、そういった点も含め、地域の方の知恵を生かしながら進めていってほしい。

○副委員長

私どもの大学もスクールバスを運用しているが、かなりの経費が掛かることが事実であり、役所としての負担は小さくない。また、朝などの利用が集中する時間帯では、バスを循環させる中で時間差が生じることもあり得る。そのようなことを想定しながら、徒歩通学の可能性も排除せずに検討を進めていただきたい。

○委員長

現在、タクシーを使っただけの合同部活動が始まっているが、開校までの過渡期にいる生徒たちにも十分な配慮をしていただきたい。既に合同部活動に参加している子どもや保護者からも様々な要望が聞かれており、そのような要望や不安が関係者で共有されるような状況を作っていただきたい。

○委員

災害や急な大雨などで、保護者の送迎の車が一時的に集中することがある。学校に進入する車の経路と、退出する経路をコントロールすることで大変な効果があることをお伝えしておきたい。

○委員

計画についての認知も進み、計画の方も随分進んできたと感じている。保護者などの意向も、不安から期待へと変わってきた部分もあるのではないか。まだ設計の段階であると思うが、今日の意見も然り、皆さんの声が反映されるようにしていただきたい。

(4) 教育市民フォーラム「キミチャレ2017」について

学校教育課企画係長より、資料5に基づき概要説明。

○委員

「キミチャレ2016」で、主催者として考えた、成果や課題を教えて欲しい。また、「キミチャレ2017」のチラシは、先程お尋ねした市立学校以外の児童生徒にも配布されているか。もし配布され、その学校の先生方と繋がることがあるとすれば、素晴らしいことではないかと思う。

○事務局

昨年度事業において、一昨年度から変更した部分は、全員発表会を瀬戸蔵で一般来場者も迎え、ステージ上で各々発表していただいたことと、数人のチャレンジャーに密着し、ドキュメンタリー形式での映像制作を行ったことである。成果としては、教育フォーラムと併せて全体発表会を開催したことで、キミチャレの活動を多くの皆さんに知っていただくことができたことと、制作した映像により、応募への一歩を踏み出せない子どもたちへのPRにも繋がるのではないかと考えている。なお、昨年度は例年より応募数が減少しており、瀬戸蔵での全員発表会への出席を参加条件としてしたことが影響したのではないかと考えている。本年度は、全員発表会を、キックオフ説明会や、中間報告会と同じ会場となる文化センターの会議室に変更し、他のチャレンジャーとの質疑の時間や、交流する時間も取りながら、よりアットホームな雰囲気で開催していきたいと考えている。

また、チラシは市立の小中学校にしか配布していない。事業については、ボラ

ンティアのサポーターと併せ、学校の先生方のサポート無しには立ち行かない状況である。機会の面で不公平があるかもしれないが、サポート体制が整えない状況と考えている。

#### ○委員

各学校におけるキミチャレへの対応については、学校の規模や状況により差があるかもしれない。仮に大規模校で積極的に応募を募れば、相当な数の応募となる。本校は規模が大きいため、本年度からは部活動単位でチャレンジしてみてもどうかということで、各部活動顧問に動いてもらっている。

#### ○委員

キミチャレが始まった時は、学校で児童にチラシを配るだけだったが、かなりの応募があった。当初は1人での応募がほとんどだったが、教員も児童に応募を促すようになったところ、2～3人グループでの応募が多くなった。その傾向にはよし悪しあるが、キャリア教育の面で大変意義のある取り組みと考える。

#### ○副委員長

刈谷市で少年発明クラブの取り組みがあり、全国でも優秀賞を排出する市となった。市が地元企業に呼びかけ、企業の協力体制が取られることになり、予算も生まれ、大変な成果に繋がっている。その成果は、刈谷高校のスーパーサイエンスハイスクール指定にも繋がっていった。キミチャレについても、県や国への発信や将来の進め方によって、また、地元企業との関わりなどによっても、次の展開に繋がる可能性を持っている。

#### ○委員

キミチャレの趣旨は様々な場面に広がっている。いつも行っている小学校の下校時の見守りの際、児童からお礼の手紙をもらったため、学校に問い合わせたところ、子どもが自ら考えて手紙を書いたということだった。このことが学校だよりも掲載・配布され、その日から子どもたちのあいさつもパワーアップし多様を感じた。これも学校だよりの中身を子どもたちなりに捉えた結果だと思う。このようなキミチャレからことも周りの大人たちが見逃すことのないようにしたい。

#### ○委員

私もサポーターを務めた経験があるが、保護者からは自ら学ぶことも多かったという感想を聞いた。ママチャレにもなっており、学び合いの形がここにもある

と感じた。事業を何回か重ねると目的がぶれることがある。応募の件数などを気に掛けるものではなく、応募することが目的となつてはいけない。子どもの情熱を信じるというところでもある。

#### ○委員長

今年は参加者同士の交流も図るということで、例えば、高校に進学したときに再開の場面があるかもしれない。

#### (5) 日本遺産の認定について

文化課長より、資料6に基づき概要説明。

#### ○委員

瀬戸市が日本遺産に登録されたことは、本当に嬉しいことだと思う。瀬戸単独での登録実現も願うところである。今回の資料には、「日本生まれ」、「日本育ち」、「日本人」、「日本の文化」等、「日本」という言葉が何回も使われている。日本遺産ですので、やむを得ないことかもしれないが、この「日本」という言葉がなくても充分通じると思うし、「日本」という言葉がない方が、良いようにも感じる。それは「日本」という枠に当てはまらない人を排除することに繋がりがねないと思う。文化同士の交流の中で発展することがあり、瀬戸でも、様々な文化を持つ様々な人びとが、千年を越える長い時間、やきもの産業を中心にもとに過ごすなか、文化を発展させてきた。資料2 ページ目の黒四角のタイトル「六古窯と日本人の心」は「六古窯と人びとの心」とか、3 ページ目の最後の行の「日本人のおもてなしの心」も「日本人」という言葉を削除して「おもてなしの心」だけで、言いたいことは充分伝わるように思う。多様性、共生等々を目指す瀬戸市の今後を考えると、枠組みによっては、その枠組みで物事をとらえたり、考えたり、事業を進めたりすることが、矛盾に繋がらないか心配である。私自身、そこに関わる人、一人ひとりに注目した表現を考えることが課題と考えた。

#### ○文化課長

日本遺産は、2020年東京オリンピックに向けた海外向けプロモーションの側面がある。「日本」というものをいかに打ち出していくかという経緯もあった。瀬戸のまちの中でどう取り組んでいくかが大事であり、歴史文化基本構想などとの取り組みと併せ、この日本遺産認定を活用していきたい。

## ○副委員長

大変興味深いものであり、今後の活用については、観光に繋げるのか、遺産として保全管理を重視していくのか。今後、瀬戸市の特徴として、世界へのプロモーション、観光客増に向けた検討をお願いしたい。

## 3 協議事項

(1) 瀬戸市教育委員会の活動の自己点検・評価報告書作成のための意見調査について

## ○企画係長

- ・本報告書作成の法的背景
- ・昨年度報告書から第2次計画に移行したことによる、評価項目、方法の変更点
- ・評価項目の担当表(案)

以上について説明。

委員からの意見はなかったため、意見調査依頼文書を配布。

## 6 その他

・委員より、4月にオープンした「新郷地域交流センター」について問い合わせがあり、地域活動支援室長より説明がされた。

・委員より、稲沢の国府宮神社大鏡餅の奉賛会の担当が、来年、54年ぶり瀬戸市になったことが報告され、子どもたちとの関わりについて検討する提案がされた。

・委員より、昨年度から設立された教育サポートセンターの活動・計画に関する情報提供がされた。

・事務局より連絡事項

次回日程は、7月26日(水)午後3時から4階大会議室にて開催予定